



No.45 2026.6.23 発行
群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報
<https://suirantaiikukai.com/>



2025年7月19日 全国高等学校野球選手権 3回戦 対 前橋高校 高崎城南球場

翠巒体育会新会長に市川英久氏就任



市川 英久
柔道部・91期

《就任のご挨拶》

この度、第6代目翠巒体育会会長を務めさせていただきます、91期柔道部の市川英久と申します。日頃は翠巒体育会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。この紙面をお借りして、新会長就任のご挨拶をさせていただきます。

数年前に、前会長の大田部功さんから新会長への打診をいただいた時のことを思い出します。それまで柔道部OB会の正月初稽古や会合等には出席していましたが、翠巒体育会にはほとんど参加できておりませんでした。どんな組織で、どんなことをしているのだろう？正直申しまして、当時の私はそんな状態でした。それから大田部さんにご案内いただきながら翠巒体育会の活動と歴史に触れ、先輩方や同期・後輩と言葉を交わし、酒を交わすこと数年。翠巒体育会の素晴らしさを体感し、この会の発展に微力ながら尽力したいと思い、

まだまだ力不足ではありますが、この伝統ある翠巒体育会の会長を拝命させていただくこととなりました。

翠巒体育会の主な活動としては、①現役生への支援、②各運動部OB会の活性化、③翠巒体育会報の発行等が挙げられます。

①現役生への支援といたしましては、関東大会以上の上位大会出場の際にお祝い金の贈呈や、校内マラソン大会でのトロフィー授与等を行っております。このような母校現役生へ物心両面でのサポートは是非ともより厚く継続させていきたいと考えております。高高校の文武両道と3F精神（ファイティングスピリット、フェアプレー、フレンドシップ）を体現し続けていただければ一助になり続けたいと思います。

②各運動部OB会の活性化としては、他部OB会同士の横のつながりを高めるべく懇親会やゴルフコンペの開催、WFK（若手を増やす会）の実施など、時期や競技は違えど母校での3年間をスポーツに全身全霊を注ぎ込んできた者同士の絆を取り持つ組織でありたいと思います。総じてどのOB会も若手の参加に苦慮している面が見受けられます。各OB会の独自の取り組みや成功事例を水平展開させながら、それぞれのOB会のさらなる発展が翠巒体育会の勢いにつながっていきます。そのために知恵を出し合い、汗をかくて参りたいと存じ

ます。また、まだOB会組織の無い部活動がいくつかございます。新たにOB会を立ち上げるにあたり、そのお手伝いをさせていただき、翠巒体育会の裾野を広げて参りたいと思います。

③この翠巒体育会報は、各OB会の編集委員の皆様方にご尽力いただきながら、毎年6月の翠巒体育会総会時に発行しております。また現在は、12月の同窓会報発送時に同封させていただき、多くの卒業生のお手元に届いているかと思っております。現役生の活躍や、各OB会の活動報告、翠巒体育会としての事業報告等で紙面のさらなる充実を図り、より多くの皆様に読んでいただき、母校愛の醸成や各OB会への参加に繋がるよう取り組んでまいります。

こういった素晴らしい翠巒体育会の活動をより進化させ、広めていく旗振り役となることを第6代目会長としてのファーストステップにしていきたいと思っております。そのためには二つの取り組みを強化して参りたいと存じます。

まず一つ目は、翠巒体育会の財政基盤の強化です。昨今の物価高の中、現役生の活動費・遠征費等、部活動には今まで以上の出費が想定されます。物心両面でのサポートがより充実できるように、心はもとより先立つものの確保もしていきたいと考えております。現在も翠巒体育会は各OB会からの会費や同窓会からのご支援等で運営されてお

ります。引き続きアイデアを出しながら、継続的に収入が確保できるように新たなチャレンジにも取り組んで参りたいと思います。

もう一つは、翠巒体育会活動をより皆様に知っていただくための広報活動に注力したいと存じます。私は以前、スポーツメーカーミズノ株式会社の広報宣伝部で10年ほど仕事をしておりました。

広報活動のノウハウは熟知していると自負しております。それを活かして翠巒体育会の情報発信を適宜行いながら、より一層のご理解とご協力をいただけるよう尽力して参ります。

結びとなりますが、新会長として引き続き皆様に支えていただきながら6代目体制をスタートさせていただきます。運営に当たっては、皆様からのご意見・

ご要望をお聞きしながら進めていきたいと思ひます。事務局を引き受けてくれた4名の同期・後輩とは共に知恵を出し、汗をかいて参ります。手垢の付いた言葉ではありますが「温故知新」の精神で、この歴史と伝統ある翠巒体育会の発展に取り組んで参ります。これからどうぞよろしくお願ひいたします。



第5代翠巒体育会会長
大田部 功

《退任のご挨拶》

第5代会長を拝命してから早いもので10年の月日が経ちました。在任中はコロナ禍による大きな時代の変化や数々の制約の中で、翠巒体育会の活動をいかに継続し、発展させていくかを模索してまいりました。そうした中でも、令和6年には翠巒体育会創立50周年記念行事を無事に開催し、皆様と祝賀の機会を分かち合えたことは、私にとって大きな喜びでした。

退任に際しまして、これまで支えてくださった皆様への感謝と共に、この10年を振り返ってみようと思ひます。

まずは私を会長にご指名くださった前会長である高橋浩生顧問には、このような貴重な機会をいただいたこと、また経験に裏打ちされた的確なご助言をいただいたことに、心より感謝申し上げます。何かあった時にはいつでも相談できるという安心感に、常に支えられてまいりました。また、会長就任時より事務局のメンバーとして尽力してくれた櫻井健一君、行事の撮影を一手に引き受けてくれた坂本弘君、ゴルフ行事担当として活躍してくれた横田裕正君にも、深く感謝申し上げます。

就任時の挨拶を振り返ると、私は「OB会発足サポート」「若手会員の行事参加促進」「新しいことへの取り組み」と3つの目標を掲げ意欲を語っていました。OB会については既に活動実績のある

スキー部からアドバイスをいただきながら、未組織の部活動に対し発足を呼び掛けてきました。新しい組織を立ち上げる難しさを実感する一方で、軟式野球部のOB会には設立の兆しが見えてきています。若手会員と新しい取り組みに関しては、2017年のWFK(若手を増やす会)立ち上げより、少しずつ若手会員の参加が増えてきています。昨年頃から、LINEグループ等を活用した働きかけが有効であることを各部OB役員の皆様にもお伝えし、少しずつ輪が広がっているところ です。

新しい取り組みの中でも、就任中にもっとも印象に残っているのは、やはり50周年記念行事です。記念ビデオの制作を提案し、歴代の会長インタビューを撮影するため、初代会長の國峯さん、2代目会長の岩田さん、それぞれのお宅へ取材に伺いました。貴重なお話を聞かせていただき、大変充実した時間となりました。お二方とも話が尽きず、岩田さんへの取材はなんと2日間にわたりましたが、それも今となっては良い思い出です。式当日は大先輩である90代のOBから、20代の若手まで、総勢200名近くの皆様にお集まりいただき、盛大に執り行えたことは感無量の思ひです。苦勞して作った動画のクライマックスでハプニングが起きてしまったことは少し悔やまれますが、何より皆様と50年という節目を共有できたことが、かけがえない財産となりました。

私はラグビー部のOBということもあり、会長就任時から歴代の校長先生に「冬の体育の授業でラグビーを復活させてほしい」と申し入れを続けてまいりました。我が母校では冬になると体育の授業でラグビーが取り上げられ、ラグビー部以外の生徒の多くが、その楽しさ

に魅せられ、クラス対抗戦が行われるほど熱いものがありました。それが30余年前に取りやめになって以来、ラグビーの授業復活を願っておりましたが、長年の熱意が伝わったのか、加藤校長(78期OB)の在任時にラグビー体験授業が実施されることとなりました。これはラグビー部OBとしても、翠巒体育会会長としても、大変喜ばしく誇らしい出来事となりました。

さて、就任時は申年だったこともあり、私は自身を「猿に烏帽子」と評し、「猿(ましら)の如く」会長としての業務に取り組み、最終的には「猿に絵馬だったね」と言ってもらえることを目標にした、と申し上げたことを覚えています。実際のところ、皆さんからの評価を直接伺ったわけではありませんが、周りの方々に助けていただきながら、自分なりには及第点がつけられるのではと自負しております。時には肝を冷やすような出来事を乗り越えながら、コロナ禍という前代未聞の制約や自粛の時代にあっても、出来ることを探し続け、50周年記念行事も成功という形で終わることが出来ました。

ここまで会長の役を続けてこられたのも、さまざまな行事や活動を進めることができたのも、支えてくださった皆様のお力あってのことです。役員、会員、先生方を含む学校関係者、そして同窓会の皆様へ、改めて心より感謝申し上げます。

翠巒体育会は、各運動部OBの繋がりや世代を超えた会員同士の交流に支えられ、現役への物心両面のサポートを通じて母校の発展に寄与してきた、全国的に見ても稀有な存在です。この尊い組織がこれから先も永く続いていくことを心より願ひ、退任のご挨拶とさせていただきます。



2年連続して春高バレー出場

砂川 智哉 (バレーボール部顧問・111期)

47年ぶりの出場から始まった挑戦は、翌年、新たな価値を伴う一歩として結実しました。令和7年度全国高等学校選手権大会において、高崎高校は2年連続となる「春の高校バレー」出場を果たしました。前回は歴史の壁を越えた「到達」であったとすれば、今年はその先へ進むための「継続と深化」の一年であったと感じています。

結果は一回戦敗退。しかし、試合内容としては、高崎高校らしく最後まで粘り強く戦い抜き、自分たちの力を発揮することができました。全国の舞台で通用する部分と、まだ足りない部分が明確になったことは、今後の成長に繋がる大きな収穫です。本校にとってこの大会は、学業と部活動の両立という大きな課題と向き合いながら挑む舞台でもあります。

多くの3年生がインターハイで引退する中、受験勉強と競技を両立しながらチームを支えたのが、唯一残った3年生リベロの新井智憲の存在でした。どんな局面でも粘り強くボールを繋ぎ、冷静な判断と声かけでチームを安定させ続

けた姿は、まさに守備の要であり、精神的支柱でもありました。その背中中、確実に後輩たちへと受け継がれています。

そして、今年のチームの大きな特徴は、2年生の総合力にあります。それぞれが自分の役割を理解し、攻守にわたってバランスよく力を発揮できる集団へと成長してきました。ラリーの中で粘り強く繋ぎ、エース兒玉を中心に全員で得点を取りにいくスタイルは、全国の舞台でも十分に通用するという実感を得ることができました。この2年生たちが中心となって試合を重ねた経験こそが、今後のチームの土台になっていくと確信しています。

また、今年の大会で強く印象に残っていることは「応援の力」です。会場には生徒、保護者、OBあわせて500人を超える方々が駆けつけてくださり、会場全体を包み込むような大声援を送ってくださいました。その結果、「ベスト応援賞」を受賞することができました。選手たちはその声援に背中を押され、最後まで戦い抜くことができました。コートの中と外が一体となったあの光景は、高崎高校らしさを象徴するものであり、大きな財産となりました。2年連続で全国の舞台を経験したことで、「春の高校バレー」は特別な場所ではなく、「結果を出すべき舞台」へと変わりました。同時に、その舞台で勝ち上がるためには、日々の積み重ねの質をさらに高めていく必要があることも実感しています。

今後はこの経験を糧に、2回の春高を経験した新3年生を中心としてチームでインターハイ、そして春の高校バレーにおいて結果を出すことを目標に、より一層努力を重ねていきます。文武両道という本校の伝統を大切にしながら、競技力と人間力の両立を追求し、支えてくださるすべての方々への感謝の気持ちを胸に、さらなる高みを目指して挑戦を続けていきたいと思っています。

全国1勝を目指して

新井 智憲 (バレーボール部・125期)

私たちは第77回と第78回の春高バレーに出場しました。第77回大会の時は3年生の岩井将人先輩が残ってくださいさりチームを引っ張ってくれました。残念ながら目標であった「全国1勝」を達成することは出来ませんでした。試合が終わった時に味わった悔しさは今でも忘れられません。それから数週間後には新人戦を迎えることになります。新人戦は何とか優勝することが出来、高高としては4連覇となりました。私が高高に入学する前から続いている優勝を止めるわけにはいかないというプレッシャーも感じながら挑んだ大会だったため、この優勝は非常に嬉しかったのを覚えています。

私が2年生の時は、新人戦・高校総体・インターハイ予選・春高予選を全て優勝していたため、新人戦以降も同じようにプレッシャーを感じながら挑んでいました。しかし、結果は高校総体ベスト4・インターハイ予選ベスト8で敗れてしまい、優勝から遠ざかってしまいました。そして、3年生として残ることを決めて春高出場と「全国1勝」を目指しました。ここからは自分自身と闘うつもりで練習に励みました。この時はバレーボールの技術だけではなく取り組む姿勢、また人としての成長も必要と考えて日々の生活を送りました。それと同時に、高生として恥ずかしくない振る舞いをしようと考えて行動しました。そして、あっという間に春高予選を迎え大会が始まりまし



株式会社広田住宅センター



代表取締役

広田 金次郎 (柔道部95期)

高崎市田町92(群馬銀行高崎田町支店向かい)

TEL.027-325-0055 FAX.027-330-1181



株式会社 市川食品

〒370-0088 高崎市行力町270-2

TEL:027-344-5800 www.yuuhachi.co.jp

代表取締役社長 市川 英久 (柔道部 91期)

高崎駅西口

木屋駐車場

TEL 027-322-5712

〒370-0052 高崎市旭町128

鳥居 吉二 (柔道部 73期)

た。春高の舞台でプレーすることの重みを知っているだけに力が入ってしまったのかどうか…理由は分かりませんが、準々決勝・準決勝ではチームの調子が上がらなかったものの、何とか勝つことが出来ました。そして、決勝戦はその大会で一番の出来の良さで優勝することが出来ました。前年の経験も活かせたと思います。

いよいよ春高本戦となりますが、思っ

たように戦うことが出来ず「全国1勝」は達成できませんでした。またもあつという間に終わってしまい、本当に悔しかったです。しかし、2度春高バレーに出場出来たことは私にとって財産になりました。校長先生がホームページに書いてくださった「1勝という忘れ物を取りに行く」という目標はまたも達成出来ませんでした。悔しい思いが残りますが、この目標は後輩たちに託そうと思います。この

間、応援してくださったOBや保護者の方々には心から感謝いたします。OB会の皆さまには節目節目でご協力いただき、とても心強く感じていました。インターハイの時には遠く大分県まで来てくださったOBの方もいらっしゃいました。春高の際には約500人が駆けつけ、応援をして下さり、ありがとうございました。私もOBの一員として今後は多くの後輩たちの力になれるよう応援していきます。

21年ぶりのベスト4に、感謝

飯野 道彦(硬式野球部顧問・100期)

主将の廣澤が44番のクジを引いたとき、私の目には同じブロックにある「前橋高校」の名前が入ってきました。「対戦することになれば、3回戦の城南球場だ」という思いが頭をよぎります。しかし、抽選会場から学校へ戻る頃にはその雑念を払い、選手には一戦必勝を伝えました。

1回戦の群馬高専戦は、投打が噛み合わず劣勢の展開となりました。しかし、7回に同点に追いつくと、8回表からマウンドに上がった藤巻が自ら勝ち越し打を放ち、6-4で夏の初戦を突破しました。次戦の市立太田戦は一転して息詰まる投手戦となりました。7回に先制した後はリードを許さず、エース黒田が3安打1失点の完投勝利を収め、苦しみながらも3回戦に進出しました。

7月19日(土)の第二試合。グラウンド

からスタンドを見上げると、大観衆が席を埋め尽くしていました。三連休の初日に球場へ詰めかけた高崎高校の生徒たちと同窓生の方々の声が、吹奏楽部のサウンドによって響きます。高崎高校にとって最高の舞台が整いました。

試合は初回から動きます。1回表に先制されるも、すぐに追いつきます。2回、3回と1点ずつ得点したものの、4回表に3点を奪われ、逆転を許しました。両チームのプライドが交差する中、7回裏に廣澤が渾身の同点タイムリーツーベースを放ちます。この一打に力を込めた廣澤はどうか二塁へ到達するも、攀った足は回復せずに無念の途中交代となりました。

選手の主将への思いが積もる中、9回裏に無死満塁という絶好のチャンスがやってきます。しかし、ダブルプレーと三振で決着はつかず、無死一・二塁から始まる延長(タイブレーク)へと突入しました。

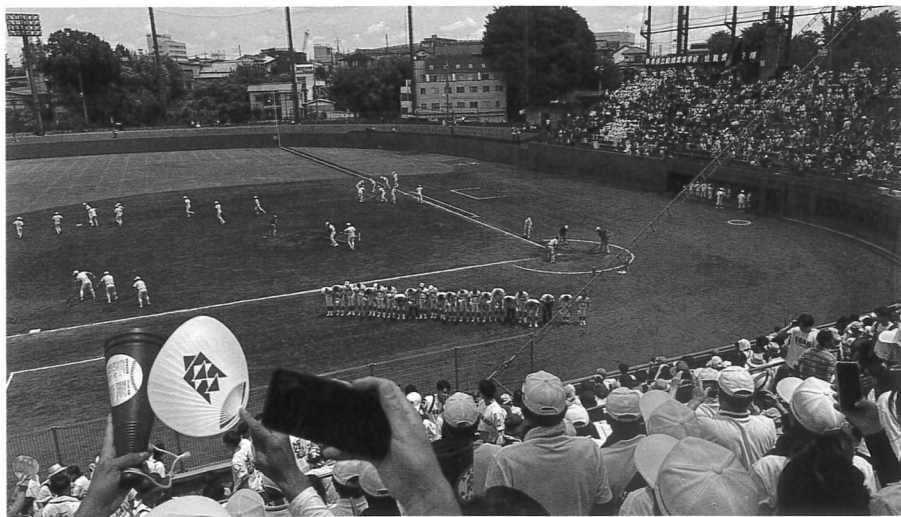
「チャンスの後にピンチあり」と言われ

る通り、10回表に前橋高校の怒涛の攻めに遭い、あつという間に4点を奪われました。4-8。絶体絶命の窮地です。さらに、この守備で二人の選手が足を痙攣させ、交代を余儀なくされました。観衆のため息が聞こえるようでしたが、選手たちの目には諦めの色は微塵もありませんでした。

4番の黛、5番の塩谷がそれぞれ初球を捉えたタイムリーを放ち、2点差に迫ります。1アウト後、谷口の三塁強襲ヒットと塩谷の好走塁で、ついに同点に追いつきました。もはやサインは不要でした。選手の「勝ちたい」という執念が、高い壁を突き崩したのです。

打順は1番、一年生の小黑。2ストライクと追い込まれた後の外角低めのボール球でした。軽く振ったバットにボールが当たります。一瞬、時間が止まったように球場が静まりました。三塁ベンチから一塁後方に白球が上がるのが見え、その行方は、歓喜に突き上げられる拳が告げていました。一年生の一打が、この激闘に終止符を打ったのです。城南球場が作った雰囲気は、宿命のライバル同士の対決にふさわしく、そして高崎高校に劇的な勝利をもたらしてくれました。

勢いに乗った選手たちは、準々決勝で桐生第一に完勝し、21年ぶりの夏ベスト4に入りました。私立優位と言われる中で、高崎高校の名を轟かせた選手たちは素晴らしい活躍を見せてくれました。これほどの成果を収められましたのも、野球部に格段のご配慮をいただいた校長先生、高生とOBの皆様のご声援のお陰であり、心より感謝申し上げます。



製鋼原料・非鉄金属
産業廃棄物収集運搬・計量証明

上越鋼業株式会社

代表取締役社長 波瀾憲昭(同窓会会長
バレーボール部(81期))
高崎市上豊岡町560-10 〒370-0871(八幡第二工業団地)
TEL(027)343-1325(代) FAX(027)343-9569

高橋浩生税理士事務所

税理士 高橋 浩生 第4代翠巒体育会 会長
バレーボール部(78期)
税理士 白井 浩一 水泳部(89期)
〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10
TEL.027-363-6303 FAX.027-363-6302
http://www.kaikai-home.com/cpta_hiro-hp/

有限会社 北原タイヤ商会

各種タイヤ販売・卸・修理・各種ホイール販売

代表取締役 北原 幸一 バレーボール部OB(86期)

〒370-0043 高崎市高岡町316-6
☎(027)323-5988 FAX(027)323-5858

今、私と次の世代の野球部にとっては、この夏以上の成果が目標となっています。悲願である夏の甲子園出場を叶えて、OBの皆様のご期待に応えたいと思っています。その思いを日々の練習の糧とし、実現のために惜しみない努力を続けていく所存です。

breakthrough-No.1の公立校~

廣澤 圭亮(硬式野球部・125期)

私たちは昨夏の第107回全国高等学校野球選手権大会群馬県大会に出場しました。大会では一般生徒のみならず、先生方やOBの方々から多くの声援をいただき、その支えの中で、高崎高校として21年ぶりとなるベスト4進出を果たすことができました。目標としていた甲子園出場には届かず悔しさも残りましたが、普通の公立高校でも甲子園を目指せるという希望を示すことができたのではないかと思います。

正直に言えば、自分自身ここまで勝ち進めるとは思っていませんでした。秋・

春の戦いを見ていた方なら、なおさらそう感じていたと思います。秋季大会では公立高校相手にコールド負け寸前まで追い込まれ、なすすべなく敗北しました。春季大会でも終盤に突き放され敗戦し、夏の前評判も決して高いものではありませんでした。

しかし、迎えた夏の大会では厳しい試合を一つずつ乗り越えていきました。

1回戦では終盤までリードを許していましたが、奇跡的な粘りを見せて逆転勝利を収めました。この試合を通して、自分たちの中にあった驕りや過信がなくなり、本当の意味で挑戦者として戦えるようになったと感じています。2回戦では厳しい投手戦の中、粘り強く戦い、最終回には一挙6点を奪う猛攻で勝利しました。3回戦では長年のライバル校である前橋高校との試合で、タイブレークにもつれ込む激戦の末に勝利しました。続く準々決勝では強豪・桐生第一高校を相手に、終始落ち着いて試合を進め、勝利を収めました。

準決勝の前橋育英高校戦では大敗

を喫しましたが試合後、部員たちの顔には涙はなく、達成感からくる笑顔が見えました。こうした厳しい戦いを乗り越えられたのは、ベンチ入りした20人だけの力ではありません。飯野先生をはじめとする先生方、練習を支えてくれた仲間たち、スタンドから声援を送ってくれた生徒、そして高崎高校野球部を応援してくださったOBや地域の方々の支えがあったからこそです。

秋・春と、自分たちの思うような野球ができず、ベスト4までの道のりは決して平坦ではありませんでした。主将という立場として、責任や苦しさを感じることも多くありました。それでも、誰一人として勝利をあきらめなかったことが、今回の結果につながったのだと確信しています。

最後になりますが、今回応援して下さったすべての方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これからも高崎高校硬式野球部への温かいご声援をよろしくお願いいたします。



KIZUNA 砂川 拓哉(107期)

卓球部での思い出に寄せて

同期の高橋さん(翠巒体育編集委員)からお声がけいただき、このたび筆を執らせていただきました。近頃は、弟の智哉(111期)が教諭として、またバレーボール部の顧問として高崎高校に着任し、日頃より大変お世話になっております。2年連続での春高バレー出場には大変驚きました。選手の皆さんの努力

には頭が下がります。

さて、ここでは弟の話ではなく、私自身の思い出を少し。わが家は弟を含め、家族全員がバレーボールに熱い家で、その影響もあり、私も中学まではバレーボール部でした。しかし高崎高校入学を機に、心機一転、別の競技に挑戦しようと卓球部に入部しました。高橋さんをはじめ、中学から卓球をやっていた友人が身近に多かったことも、その理由の一つだったような・・・。

当時、卓球部には高校から競技を始めた初心者が2~3割ほどいたのでしょうか。経験者が大半の中で、入部当初は、「自分でも馴染めるかな?」「練習についていけるかな?」といった不安が尽きなかったものですが、そうした心配はあっという間になりました。部の雰囲気は全体的に自由で、同時に上級者も初心者も分け隔てなく受け入れる懐の

深さがあったと思います。分からないことがあれば、経験者の同期や先輩が優しく教えてくれましたし、初心者でも試合や練習試合で実戦のチャンスがもらえていたと思います。練習試合の数自体は決して多くなかったかもしれませんが、太田高校や浦和高校へ遠征して臨んだ試合は、今でも懐かしいです。

毎年恒例の校内合宿も印象深い思い出です。合宿終盤の「大トーナメント」は、単なる勝ち抜き戦ではなく、本戦で敗れば敗者復活戦へ、さらに敗れば敗者復活戦へと進み、最終的には1位から最下位まで全員の順位が決まる仕組みでした。自分と同じ高校から卓球を始めた仲間同士でも、そこで実力の差がはっきりと表れます・・・互いに一歩も引かず、バチバチに戦ったのが懐かしいものです。

当時の顧問は内田均先生でした。合

創業明治11年
総合建設業・一級建築士事務所
製材・プレカット・アスウッド

ISO-9001
認証取得

株式会社 研屋

専務取締役 清水 正郎(硬式野球部・75期)
本社/高崎市飯塚町805 TEL 027-361-5095

SAN-ESU nanoclea PREMIUM DEO
サンエス工業株式会社

代表取締役 清水 威(硬式野球部・85期)
専務取締役 清水 崇(硬式野球部・87期)
本社 高崎下室田町1159番地 高崎 高崎町屋町710番地
TEL.027-340-1581 FAX.027-340-1591

整形外科
ぐんまの森クリニック
Gunma no Mori Clinic

院長 濱野 哲敬(硬式野球部 102期)
TEL 027-324-6100
〒370-0024 群馬県高崎市八幡原町453-1

宿では毎回、ガラムマサラをたっぷり効かせた激辛カレーを振る舞ってくださり、舌をしびれさせながら必死に食べ切ったことを思い出します。なぜあれほど辛さにこだわっておられたのかは、いまだに謎のままです(笑)。また、翌朝のランニングで高高周辺を巡り、清水寺に立ち寄った際には、先生が「摩訶般若波羅蜜多心経」を澄んだ声で唱えていたのがよく記憶に残っています。当時は「よく全て覚えているなあ」と感心していましたが、後に先生が出家され、現在は内田堯重住職として前橋・富士見の珊瑚寺で活躍されていると知り、深く納得したものです。そういえば、まだ一度も珊瑚寺に伺ったことがありませんでした。近いうちに足を運んでみようかと……。

そんな思い出も、今では遠い過去ですね。現在の卓球部はどのような様子でしょうか。高橋さんから伺う限りでは、私たちの頃よりも指導体制がさらに充実し、恵まれた環境のもとで日々練習に励まれているとのこと。近年では団体戦で関東大会に進出するなど、着実に成果を上げていると聞き、OBとして誇らしい限りです。

一方で、私自身はというと、近頃はOB戦にもすっかり足が遠のいてしまいました。最後に参加したのは、もう10年以上前になるでしょうか。その際、現役生との試合後、ある生徒が私にプレーの改善点を熱心に尋ねてきたことが印象に残っています。その試合で私は彼に完敗していたにも

かわらず、です。どんな相手からも何かを吸収しようとする姿勢に感心しつつ、それに応えられるだけの言葉と経験を持つ先輩でありたいと、身の引き締まる思いでした。良い先輩でありたいですね。

とりとめのない思い出話となってしまいましたが、最後に、高崎高校卓球部のさらなる発展を心より祈念し、筆を置かせていただきます。



KIZUNA 宮原 丈太郎(111期)

白球を追いつけて

この度、翠巒体育会報の「青春の絆」に寄稿する機会をいただき、心より感謝申し上げます。高崎高校の三年間、卓球台を挟んで仲間と火花を散らした日々は、今の私を支える精神的な背骨となっています。卒業から時が経ち、社会という荒波の中で揉まれながらも、私は今なおラケットを握り続けています。今回の寄稿では、なぜ私がこれほどまでに卓球に魅了され、今もなお続けているのか、その理由について綴らせていただきます。

卓球というスポーツは、一見すると狭い台の上で展開される静かな競技に見えるかもしれませんが、その内実は、時速百キロを超える打球をミリ単位の精度でコントロールし、相手との高度な心理戦を繰り返す、極めて過酷な格闘技に近いものです。放課後の体育館、夏場

は蒸し風呂のような熱気の中で、一球一球に魂を込めて打ち込んだあの時間は、大きな意味を持っていました。

高高での練習は、決して恵まれた環境ばかりではありませんでした。しかし、限られた時間と設備の中で、どうすれば強豪校に打ち勝てるのか。戦術を練り、互いにアドバイスを送り合い、自主的に工夫を重ねる過程こそが、高高卓球部の醍醐味でした。そこにあったのは、先生方やOBの方々の温かいご指導、そして何より、共に汗を流した同期や先輩、後輩たちとの固い絆です。勝負の厳しさに涙したこともあれば、勝利の瞬間に全員で咆哮したこともあります。それら全ての経験が、私の血肉となっています。

大学に進学をしたタイミングで一度卓球からは離れてしまいましたが、社会人としての生活が始まり、職場の卓球部に誘われたことをきっかけに卓球を再スタートしました。学生から大人に変わり、卓球という競技の「深み」を再発見することになりました。仕事が大変な時であっても、私は卓球をします。仕事で疲れた体には練習や試合は大変なものですが、私の打った球が相手を置き去りにする最高の瞬間が、何度でも私を蘇らせるのです。

卓球は、世代や職業を超えて人々を繋ぐ力を持っています。週末の練習会や市民大会に足を運べば、そこには小学生から、八十代の大ベテランまでが同じルールのもとで真剣勝負を楽しんでいます。ラケット一本あれば、初めて会った人とも言葉を介さずに深く交流できる。これは卓球ならではの魅力だと感じています。実際に自分自身も社会人卓球を通じて、様々な楽しい交流ができています。年齢の違うチームメイトと試合終わりに祝勝会や反省会と称して飲み会をしたり、高校時代は私程度では到底歯もたたないような群馬県のチャンピオンと酒を酌み交わしたり、卓球のおかげで美味しいお酒を飲ませてもらっています。また、数年前には、チャンネル登録者数350万人以上のユーチューバーの「卓キちゃんねる」さんとも試合をさせていただきました。



宮原選手
卓キチ

0 9
0 6

株式会社 シビル設計

CIVIL Design office Co., Ltd

代表取締役 根岸博昭(卓球部67期)

高崎市石原町1753-33 TEL027-324-1456



株式会社
システムハウス

代表取締役 堤 康高(卓球部71期)

群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルⅡ4-B
TEL 027-327-8451 FAX 027-327-8480
URL <http://www.sysh.jp/>

文武両道・3F精神 全開!
がんばれ、卓球部

卓球部OB会一同

た。私との試合動画をYouTubeにあげていただき、多くの人から試合を見たよと声をかけていただきました。

現役生のみなさんには、どんなものでも良いので生涯を通じて夢中になれるものを見つけてもらいたいと思います。スポーツや音楽、ゲーム、旅行なんでも良いと思います。その夢中になれるものが自分の人生をより豊かにしてくれるはず。OBとして、皆さんが夢中になれるものに出会い、活躍できることを心より願っております。



KIZUNA 関根 史比古(112期)

考える卓球をしる

私が高高的卓球部に所属していたのは、今からちょうど十四年ほど前のことだ。写真なども撮っていたはずなのだが、当時はガラケーの時代で、写真データは本体ごとどこかへ行ってしまった。

そのため、高校時代の思い出やエピソードは記憶の中にしか残っていない。もっとも、細かいことはだいぶ消えている気がする。今になって振り返ると、自分が出た試合のことはあまり覚えていないが、宮原先輩が最後の大会で関東大会まであと一歩のところまで進んだ時のこ

とはとてもよく覚えている。

一方で、自分のこととしてよく覚えていることは、試合そのものより、先生から言われた言葉だ。三年間を通してお世話になった顧問の先生は江原先生で、よく言われていたのは、「考える卓球をしる」という言葉だった。最初はまったく意味がわからなかった。当時の、いや現在でも私の思考体系はいたってシンプルで、「入ってくる球を全部返せば勝てるだろ」という発想しかなかった。先生の言葉にはどこか曖昧さを感じて、正直なところ「じゃあどうすればいいんですか」とすら思っていたし、一度くらいはそうのように聞いた気がする。たしか、「自分で考えろ」と言われたように思う。

結局、特に深く考えずに練習や試合をして三年間を終えた。実際、当時の自分は「とにかく返す」ことしか考えていなかった。同じコースに何本も打たされても、「なんで取れないんだろう」くらいにしか思っていなかったし、相手に読まれているという発想すらあまりなかった。

ただ、卒業して何年も経った今になって振り返ると、先生たちの言っていたことが自分なりに解釈できるようになった気がする。おそらく、「相手が考えていないであろうことを見つけて、相手の意識の外を突け」といったことだったのだと

思う。案外、社会に出てからこうした感覚を求められる場面は多く、汎用性の高い言葉である気もする。そこまでいくとむしろ考えすぎかもしれないが。

ちなみに私の卓球部員としての実力は、団体戦のレギュラーにはなれず、個人戦になんとか出られる程度で、チームの中で目立つ存在でもなかった。かといって勉強で好成績を出していたわけでもない。当時は勉強も部活も自分なりにがんばっていたが、正直ついていくのもやっという状態であった。今の言葉でいえば「ジゲン」だったようにも感じる。とはいえ結果だけ見れば、「もう少しうまくやれたのでは？」という気持ちは、今もある。

今振り返ると、卓球部で何か劇的な成功体験を得たわけではなかった。それでも、あの三年間が無意味だったとは思っていない。なぜなら、長い人生の中でずっと勝ち続けるのはかなり難しいし、そう考えると、高校時代のうまいかなさを先に経験しておいたのは案外悪くなかったのかもしれないと思うからである。現に、これまでの人生でもうまいかなことは多かったし、これからもたぶんそういうものなのだろう。もっとも、それも結局、自分なりにあの三年間をそう消化するほかないというだけなのかもしれないが。

2025事業報告

令和7年4月1日○令和8年3月31日

- 4 7日●第1回役員会議
(グランビュー高崎)
- 15日●第1回編集会議
(翠巒会館)
- 6 9日●第2回編集会議
(グランビュー高崎)
- 9日●監査役会
(グランビュー高崎)
- 16日●第2回役員会議
(翠巒会館)
- 24日●第51回定期総会
(グランビュー高崎)
- 24日●翠巒体育第44号発行

- 10 16日●若手を増やす会(W.F.K)
(エルフリオ)
- 11 18日●高崎高校マラソン大会
優秀者表彰
(高崎高校)
- 30日●第35回ゴルフ大会
(サンコーカントリークラブ)
- 3 2日●高崎高校卒業式
(高崎高校)

第51回定期総会・懇親会

バスケットボール部／西村 昌吾(102期)

令和7年6月24日(火)、ホテルグランビュー高崎において「第51回翠巒体育会定期総会および懇親会」が盛大に開催されました。

総会は例年通り、前年度の事業報告・会計報告および監査報告から始まり、今年度の事業計画案ならびに予算案が慎重に審議され、満場一致で可決・承認されました。そして、今回の目玉である役員改選が行われ5期という長い期間御尽力いただいた大田部功前会長(85期)から市川英久新会長(91期)へとバ

表野登記測量事務所

土地・建物の登記・測量／開発申請／相続／各種許可申請

土地家屋調査士 表野 真拡(ラグビー部・83期)

高崎市小八木町1450番地7

TEL.027-370-1286 FAX.027-370-1287

E-mail hyono.m@aria.ocn.ne.jp

しばやま歯科

柴山 佳行(ラグビー部・96期)

〒370-0849高崎市八島町107-102

TEL.027-393-6480

株式会社 有花園

亀田 慎也(ラグビー部・88期) 亀田 壮太(バスケット部・117期)

亀田 圭吾(ラグビー部・94期) 亀田 敦也(JRC・119期)

亀田 伍朗(バスケット部・現役) 〒370-0806 高崎市上和田町8

TEL.027-322-4875



●第一回役員会議



●第一回編集会議



●関東大会出場祝い金贈呈



●第51回翠鸞体育会総会



●翠鸞体育会懇親会

トンが引き継がれました。こちらも満場一致で可決・承認され、翠鸞体育会の新たな歴史の1ページに立ち会うことができました。

また議事のなかでは、課題となっている若手OBの参加を促す施策(WFK)の継続的な取り組みや、現役生に向けてOB会の活動を積極的にアピールし、より充実した支援を届けるための意見交換も行われました。翠鸞体育会のさらなる活性化に向けた、前向きで有意義な総会となりました。

引き続き行われた懇親会は、市川新会長からの所信表明ともいえる熱意あふれる挨拶で幕を開けました。来賓の皆様や母校の佐鳥校長先生からのご挨拶を頂戴し、和やかなムードで歓談がスタートしました。

懇親会の中盤では、各部OB会からの活動報告や近況報告が次々と行われま

した。世代や競技の垣根を越え、久しぶりに再会した旧友との思い出話や、現役生の目覚ましい活躍を称える話題で各テーブルに笑顔が溢れ、会場は終始活気に満ちていました。

宴の最後には、参加者全員で母校の校歌と応援歌を声高らかに斉唱し、翠鸞体育会と現役部員たちの益々の発展を祈念して、大盛況のうちに幕を閉じました。

お忙しい中、足をお運びいただいた皆様、誠にありがとうございました。今後とも、各部OB会の連携を深め、翠鸞体育会への変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

若手を増やす会(W.F.K.)

バレーボール部／柚木 拓飛(123期)

2025年10月16日(木曜日)、翠鸞体育会主催で「W.F.K(若手を増やす

会)」が高崎のエルフリオというお店で開催されました。実は、エルフリオというお店は自分の高校の同期のご家族が経営しており、高校生の時に食事に行かせてもらっていました。以前からお世話になっていたこと、また今回の会場をご提供いただきましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。自分は、この年の2月頃からバレーボール部OBが主に活動している「翠鸞クラブ」というバレーボールチームに加入しました。そこで、先輩から「若手を増やす会に参加してみないか?」と言われ、参加を決めました。各部活、幅広い年代の方々が参加しており、自分は最年少だったこともあり、緊張して、馴染めるか正直不安でしたが、たくさんの方々が話しかけてくださり、すぐに打ち解けることができました。

様々な種類の美味しい料理と共に、部活の先輩や他部活の先輩方と高校時

山岳部OB(78期)

税理士 吉井 章一

吉井会計事務所

高崎市上中居町1646-1 TEL 027-386-5500

山岳部OB(84期)

代表社員・税理士 真下 哲夫

税理士法人 真下経営

高崎市倉賀野町3557-4 TEL 027-346-1463

山岳部OB(79期)

代表取締役・一級建築士 須川 光一

リフォーム工房 | 一級建築士事務所

SUKAWA 株式会社 スカワ

創業60年・地域密着リフォーム専門店



●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰



●ゴルフ大会団体優勝 スキー・スケート部OB会



●第35回ゴルフ大会



●若手を増やす会(W.F.K.)



●若手を増やす会(W.F.K.)

代の思い出話を聞くことができ、とても有意義な時間になりました。最後には皆様と肩を組み、校歌を久しぶりに歌えたことも印象に残っています。高校を卒業してしまうと、友人と疎遠になってしましますが、「若手を増やす会」は同期や多くの先輩とまた繋がることのできる素晴らしい機会だと思います。ご興味があれば、是非ご参加ください。

第35回ゴルフ大会 団体優勝

スキー・スケート部／佐藤 雄一(86期)

令和7年11月30日、サンコーカントリークラブにて開催された第35回翠巒体育会ゴルフコンペにおいて、我々スキー部は昨年に引き続き団体優勝を果たし、見事2連覇を達成いたしました。

前日は恒例のスキー部OB会を開催し、旧交を温める中でつい杯も進み、当

日はややコンディションに不安を残した状態でのラウンドとなりました。私自身もプレーの記憶がやや曖昧ではありますが、チームメンバーの安定した成績に支えられ、優勝という結果につながりました。なお個人としてはハンデにも恵まれ4位に入ることができましたが、チームへの貢献は決して大きいものではなかったと感じております。

年に一度の部対抗戦で、翠巒体育会の皆様と世代を越えて楽しくゴルフを一緒にできることは、この会の大きな魅力と感じております。今後もこのような交流を大切にしながら、高崎高校同窓会ならびに翠巒体育会のさらなる発展に微力ながら貢献してまいりたいと存じます。

第35回ゴルフ大会 個人優勝

スキー・スケート部／沼野 藤雅(89期)

このたび開催されました翠巒体育会ゴルフ大会におきまして、思いがけず優勝という素晴らしい結果を収めることができ、大変嬉しく思っております。

大会当日は、前夜にスキー・スケート部のOB総会がありましたが、ちゃんと一次会で家に帰り体調を整えました。朝に前日一緒に飲んでいた同級生が体調不良で来れなくなり、野球部の若い二人と一緒に回らせていただきました。当日のプレーの状況を全く思い出せないのですが、out36、in40と素晴らしいスコアで回っていました。ハンデにも恵まれ今回の結果につながったと感じています。ゴルフを通じて、多くの出会いや学びを得られることに改めて感謝するとともに、今回の優勝に慢心することなく、今後も技術向上とマナーを大切にしながら、さらに人間としてゴルファーとして成長できるよう努力してまいります。



群馬セラミックス株式会社

取締役会長 小貫 諭 (水泳部 69期)

本社工場 群馬県藤岡市白石1444
TEL:0274-22-2096 FAX:0274-24-4974
吉井工場 群馬県高崎市吉井町小串792-1
TEL:027-387-8677 FAX:027-387-8678
E-mail: onuki@guncera.co.jp
https://www.guncera.co.jp/



腎臓内科・一般内科

島田クリニック

院長 島田 明仁 (水泳部・69期)

〒375-0053 群馬県藤岡市中大塚172-7
TEL.0274-23-0005 FAX.0274-23-0007



株式会社山岸製作所

薄肉切削(旋盤)加工のエキスパート

代表取締役 山岸 祐二 (水泳部・79期)

浜川本社工場 高崎市浜川町590-23 TEL.027-360-4100
八幡工場 高崎市剣崎町21-1 TEL.027-387-0505

第35回 ゴルフ大会結果

●団体戦

順位	運動部名	GROSS	HDCP	NET
1	スキー・スケート	252	32.4	219.6
2	硬式野球	260	37.2	222.8
2	サッカー	262	40.8	221.2
4	剣道	266	42.0	224.0
5	ラグビー	271	46.8	224.2

●ネット個人戦

順位	氏名/運動部名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
1	沼野藤雅(スキ)	36	40	76	6.0	70.0
2	関守行(剣)	41	45	86	15.6	70.4
3	吉田和人(サ)	37	41	78	7.2	70.8
4	佐藤雄一(スキ)	46	49	95	24.0	71.0
5	橋爪洋介(卓)	36	39	75	3.6	71.4

口座振込ご利用の場合は、下記口座までお願いします。
群馬銀行 高崎栄町支店 普通預金0783238
スイランタイカイ カイケイ タケヤマ ユウミ
翠巒体育会 会計 武山 雄海

令和7年度 翠巒体育会会計報告

収支計算書

(自令和7年4月1日 至令和8年3月31日)

科目	金額	摘要
収入の部		
年会費収入	375,000	15部
同窓会補助金	300,000	高崎高校同窓会
広告費収入	330,000	15部同窓会新年会幹事期
親睦会収入	392,000	令和7年6月24日 ホテルグランビュー高崎
WFK(若手を増やす会)	201,000	令和7年10月16日 エルアリオ
ゴルフコンペ収入	267,000	令和7年11月30日 サンコーカントリークラブ
雑収入	355,000	同窓会ゴルフ補助金、祝金 会議個人負担等
寄付金	1,000,000	バレーボール部より
受取利息	404	群馬銀行
(当期収入合計)	(3,220,404)	
特別会計取崩金	0	
前期繰越収支差額	619,878	
収入の部合計	3,840,282	

特別会計 (令和8年3月31日現在)

科目	金額	摘要
資産の部		
普通預金	502,623	群馬銀行高崎西 (普) #0593363
特別会計財産	502,623	特別会計分

科目	金額	摘要
支出の部		
総会・親睦会費	571,000	令和7年6月24日 ホテルグランビュー高崎
現役等補助金	313,960	関東大会全国大会出場 の運動部、マリン大会等
会報発行費	498,300	「翠巒体育」第44号
WFK(若手を増やす会)	230,000	令和7年10月16日 エルアリオ
ゴルフコンペ費	134,580	令和7年11月30日 サンコーカントリークラブ
慶弔見舞金	19,800	供花代
事務用品・通信費	119,950	郵送費、ホームページ 管理費等
会議運営費	284,500	編集会議、役員会議等
銀行手数料	990	振込手数料
(当期支出合計)	(2,173,080)	
特別会計拠出金	0	特別会計への拠出金
支出の部合計	2,173,080	
(収支差額)	(1,047,324)	(当期収入合計) -(当期支出合計)
次期繰越収支差額	1,667,202	収入の部合計-支出の部合計

財産目録 (令和8年3月31日現在)

科目	金額	摘要
資産の部		
現金	1,947	現金手許有高
預金	1,665,255	群馬銀行高崎栄町 (普) #0783238
正味財産	1,667,202	一般会計分

OB 各運動部OB会の近況報告



スキー・スケート部
寺澤 佑介
(95期)

いつもOB諸兄、および関係者の皆様には大変お世話になっております。

スキー・スケート部OB会の活動

としましては、まず、昨年11月29日(土曜日)、前年と同じく高崎市内、山田町の「呑み食い さとお」において、OB総会及び懇親会を行いました。

OB十三名が「さとお」に集いました。

さとおは88期、佐藤光昭さんが営まれているお店です。

美味しい料理に舌鼓を打ちつつ、近況報告、そして、高校時代の思い出などを語り合い、大変盛り上がりしました。

翌日、11月30日(日曜日)には翠巒体育会のゴルフ大会に有志が参加。

飲み会明けというタイミングにも関わらず、何とスキー部が2024年に引き続いて団体戦で連覇を達成しました。

また、89期、沼野藤雅さんが個人優勝という快挙を成し遂げました。

当日、ゴルフ大会の方に参加されたOB諸兄の方々、本当に

おめでとうございます。

そしてお疲れ様でした。

ただ、本年の現役生の状況については、昨年に引き続き、かなり心配な状況です。

これを執筆している5月の段階で現役の部員は0人、活動している部員がいないというとても心配な話を聞いております。

スキー離れというのは少し前から言われている話ですし、山の雪も年々少なくなっています。

そのような社会的、環境的要因もあるかもしれません。

ですが、現役生がいないということは私達OBとしまでも非常に寂しい所です。

OB会の方でも何とか知恵を絞り、再びスキー・スケート部の部室で現役生の元気な声が響く、その道筋をつけて行ければと思っています。

今後ともスキー・スケート部OB会をどうぞ宜しくお願いいたします。



水泳部
新藤 洋一
(81期)

3月22日(日)東京アクアティクスセンターで行われた第101回日本選手権水泳競技大会男子50m背泳ぎで、119期卒の三浦

サカサカ酒造

有限会社 仲沢酒造

仲澤 賢一 (バスケットボール部 第86期)

高崎市八千代町1-12-4 (和田橋通り)
電話 027-323-1621
FAX 027-326-2141

(社)日本MMJ協会認定 シニアMMJ
(社)日本MMJ協会 群馬支部支部長
ホームページ
http://www.nakazake.com

株式会社 塚本工務店

塚本 浩史

(バスケットボール部 99期)

本社 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡1848-1
TEL:0274-23-1212代 FAX:0274-24-2300

株式会社 大利根漬

富沢 慎一・誠佑

(バスケットボール部 99期)

〒370-3334 群馬県高崎市本郷町150-1
TEL:027-343-6007 FAX:027-344-1588



119期卒 三浦 玲央選手
第101回日本選手権水泳競技大会男子50m背泳ぎ優勝!
2026パンパシフィック大会・第20回アジア大会日本代表決定!!

玲央選手(筑波大卒・スウィンスイミングスクール)が25.13のタイムで同着優勝を飾った。78期須藤(筑波大卒)は競技役員として参加しており、たまたまスタンドで観戦する事ができた。

大歓声がスタンドを揺るがす中、選手は横一線でゴール。誰が勝ったかは電光掲示板で表示されないと判らない。その一番上に載ったのが三浦玲央選手。1着から5着までが0.05秒という激戦だった。競泳は1/100秒で着順を決定するが、電光掲示板には1/1000秒の単位で速いものが上位に載る。

三浦選手が一番上だ! 最高だ!!

競技会終了後、直ちにダンプールへ行き筑波大学の控え場所で三浦選手を祝福した。この写真はその時の写真である。苦勞してただけに日本代表選手に選ばれたことは喜ばしい。

高崎高校水泳部としても誇りである。

彼の今後の人生がさらに大きく飛躍し、大きく拓かれることを期待したい。



山岳部

須川 光一
(79期)

OB諸兄ならびに関係者の皆様には、日頃より大変お世話になっております。

現在の山岳部OB会ですが、ご高齢の役員の引退が続き、役員会も以前に比べ少し寂しくなっていました。今後は、若い世代の皆さんにも役員として参加いただき、一緒にOB会活動を盛り上げていければと思っています。

OB会の主な活動は、皆様からお寄せいただいた会費や寄付をもとに、現役生の夏合宿への差し入れなどを行うことです。以前実施していた現役生との交流会や、OB会主催の山行、ゴルフコンペなども、今後ぜひ復活できればと考えており

ます。

79期では、毎年春と秋に山行を実施しています。昨年秋には北八ヶ岳を訪れ、苔むした森や白駒池周辺の美しい紅葉を満喫してまいりました。山に登る楽しさはもちろんですが、下山後の祝杯や近況報告など、昔の仲間と語り合う時間もまた、何ものにも代えがたい大切なひとときでした。

山岳部OBの皆様の中で、「今でも仲間と山に登っている」「山行を続けている」といった情報がありましたら、ぜひ山岳部OB会事務局までメール(thsac1950@yahoo.co.jp)にてご一報ください。まずは世代を超えて情報を共有し、つながりを広げていければと思っています。

これからも山岳部OB会がさらに発展していけますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



応援部

小川 哲生
(115期)

この度、活動報告をさせていただきます。群馬県立高崎高等学校応援部 第63代主将を務めておりました、小川哲生と申します。

拙文ではございますが、何卒お目汚し願います。

令和七年度の当部OB会の活動のうち、現役部員との直接的な関与があるものとして、合同リーダー公開の運営が挙げられます。太田、前橋を併せた三校での演舞披露となり、今回は当校が主幹事として、榛名文化会館(「エコール」)大ホールを会場としました。当日は一般観覧の地域の皆様はもちろん、現役生を含む当校硬式野球部関係者の皆様に大勢ご参加いただきました。お忙しい中お越しいただき、盛会となりましたこと、遅ればせながら文面にて厚く御礼申し上げます。その他、全国高等学校野球選手権大会(夏の高校野球)における應援等において、OB数名が陣中見舞いを行いました。

私事になりますが、自分が最後に後輩支援に携わった時の年号は平成でした。昨年六月に一般来場者として訪れた翠巒祭・定例リーダー公開祭で、約八年ぶりに母校を訪れたこととなります。雨天の体育館で壇上に立つ現役部員を見て、筆舌に尽くしがたい想いが去来しました。卒業して十年目、在学期間



オリタックス税理士法人

社員 税理士 折田 成康 (108期 ソフトテニス部OB)
 〒370-0041 高崎市東貝沢町4-25-2
 第一部門 TEL 027-362-3631(代) FAX 027-364-3879
 第二部門 TEL 027-388-0905 FAX 027-388-0906
 第三部門 TEL 027-386-9142 FAX 027-386-9143

1級建築士事務所 群馬県知事第2146号

有限会社 田口総合設計

創業57年 群馬県知事(16)98号

有限会社 田口不動産

1級建築士 田口恵一 (74期 ソフトテニス部 OB)

〒370-0846 高崎市下和田町一丁目1番1号 TEL 027-322-2492

木村動物病院

高崎市吉井町池1369-1

TEL 027-387-2520

城南大橋どうぶつ病院

高崎市寺尾町2623-6

TEL 027-384-3000

72期・100期 ソフトテニス部 OB



も含めれば既に干支が一周した事実を体感すると同時に、後輩が活動している姿に一抹の嬉しさを覚えもしました。以後、冷やかし同然でいくつかの活動を見学させていただきました。

当部OB会の活動について、自身の納得のいく関わり方は未だ見出せておりませんが、應援部は現役の全校生徒のために存在し、その活動は部員自らが意思決定して欲しい、との願いは昔も今も変わりません。当部関係者のみならず、当校に与える全ての皆様のご健勝を祈念し、ご報告いたします。

押忍。



硬式野球部

金田 優弥
(106期)

昨年4月、100期OB飯野氏が硬式野球部監督に就任し、新たな体制がスタートしました。これを契機にチームは着実に力を伸ばし、昨夏の県予選では宿敵前橋高校を破ってベスト4に進出しました。さらに昨秋の県予選でも2期連続となるベスト4入りを果たし、安定した強さを示しています。また、昨夏からは107期OB吉田氏が外部コーチに就任し、さらなる戦力強化が図られています。

OB会においても公式LINEやInstagram、Facebookページを整備することで、連絡網と情報発信力の向上を実現しました。

今年2月にはOB会交流戦を開催し、68名ものOBが参加するなど結束が一層深まりました。当日は、元硬式野球部監督で

ある76期OB小林氏によるシートノックが行われ、往年を思いさせる指導に大きな拍手が送られました。また、前回の甲子園出場時のエースである112期OB島田氏が登板し、力強い投球で会場を沸かせました。またOB会で卒業記念品を製作し、2月27日の卒業式予行練習日に本年の卒業生18名へ贈呈しました。

こうした取り組みの積み重ねにより、現役生の悲願である3度目の甲子園出場、そしてOB会のマスターズ甲子園本戦初出場へ向けた機運は、飯野監督就任を契機に大きく高まりつつあります。

OB会HP <https://takataka-baseballob.com>



柔道部

伊藤 俊一郎
(92期)

2026年1月3日(土)は例年どおり、現役・OB合同による初稽古と、稽古後のOB会新年会を行いました。

初稽古は鳥居吉二OB会長(73期)、学校から顧問の田中利明教頭先生、小林裕貴先生の見守りのもと、50名の参加者で行われました。うち現役部員は2年生2名、1年生5名で昨年よりも現役部員が5名増え、OB部員からは令和7年6月24日に翠巒体育会の会長に就任された市川英久さん(91期)も一緒に汗を流されました。

稽古は足の怪我でやむを得ず見学参加だった飯沼希武主将(2年生)が号令役を務め、ランニング10分間、準備運動、寝技反復受取1分間×5本、寝技乱取2分間×5本、立技打込10分間、立技乱取3分間×5本×2セットを、休憩を挿みながら進めていきました。そして、昨年から再開した現役・OB対抗戦は、試合ができない飯沼主将を除く現役部員6人とOB部員6人×2チームで計12試合を行いました。結果はOB部員の全勝で力を見せましたが、体格の良い現役部員もおり、未来に期待を抱かせる素晴らしい内容でした。稽古終わりには鳥居会長の挨拶と講評をいただき、今年も無事に初稽古を終えました。

新年会はホテルグランビュー高崎にて21人の参加で行われました。今回は、新年会のみ参加されるOBの方にも初稽古



磐梯朝日国立公園
会津・裏磐梯

高高割あります！



ペンション 楓

西沢 優 (スキー・スケート 82期)

福島県耶麻郡北塩原村松原湖剣ヶ峰1093-869

TEL.0241-32-3455

不動産の売買・仲介・コンサルティング

株式会社

DAIWA

大和興業 KOGYO

代表取締役 金子 哲也 (スキー・スケート 88期)

〒370-0064 群馬県高崎市芝塚町1879番地8

サンライズビル芝塚13

TEL.027-388-0221 FAX.027-388-0129

香み さいとあ
食い

香み食い さとあ

佐藤 光昭 (スキー・スケート部88期)

高崎市山田町57-1 TEL:090-3141-1252

の様子を共有していただけるよう、現役・OB対抗戦の様子を撮影した動画を新年会会場で流す工夫を行い、参加者は初稽古の話題も含めながら楽しく和やかな時間を過ごしていました。



サッカー部

佐藤 雄一
(97期)

サッカー部OB会の活動は、正月の初蹴会に始まり、総会・新年会、現役保護者会や翠巒体育会にて交流しています。

初蹴会では若手を中心に今年も100名以上の参加者があり、1月2日に和田橋グラウンド4面を使って、現役生と一緒に汗を流しました。全国各地に散らばった同期などが久しぶりに集まって近況を語り合う場にもなっており、特に大学生を含む若手グループは、サッカー後は新年会を開催するなど、貴重な機会となっています。

次に、毎年2月の第3土曜日にグランビュー高崎で開催している総会・新年会は、今年も約40名の参加があり、現役生の活躍や近況で盛り上がり、主に40代から70代までの幅広い世代が交流しています。

そして、現役サッカー部保護者会様からは、昨年度も7月の懇親会、1月の新年会にそれぞれご招待いただきました。毎回、サッカー部の保護者会はご夫婦で参加される方も多く盛大です。保護者同士の交流はもちろんのこと、顧問の先生、コーチ陣、OB会が一同になって子供達のサッカー環境について語り合い、関係者の結束を強める大変貴重な機会となっています。

さらに、近年盛り上がりを見せているシニアリーグの舞台に、今年も40代を対象とした翠龍ミドルFC、50代を対象とした翠龍FC50がそれぞれエントリーしています。特に、翠龍ミドルFCは、昨シーズン2部リーグで優勝し、2026シーズンは1部で戦ってくれており、30代まで色々なチームでプレーしていた会員の良い受け皿になっています。シニアリーグは、一度子育てなどでサッカーから離れていた世代が再度サッカーを楽しむことができる非常に魅力的なリーグですので、関心のある方はぜひお問い合わせください。

最後に、現役生は今年も25名が入部し、総勢60名を超える部員が強豪ひしめく群馬のサッカーシーンでも虎視眈々と上位進出を狙っています。ぜひ皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



我々も大いに刺激を受ける有意義な時間となりました。開催にあたりこのような機会をご提供いただいている顧問の小澤先生をはじめ、多大なご協力を賜りました現役生のご家族の皆様へ、この場を借りて深く感謝申し上げます。

また、本年は例年より少し遅い8月に総会の開催を予定しております。先のOB戦に比べますと、参加者も若干寂しく感じます。私自身もそうですが、同期の繋がりは各OBの皆様におかれましても続いていることと思いますので、これまで参加の機会がなかった皆様につきましても、同期会の一つとして総会という場を利用いただき、ぜひ気兼ねなく足をお運びください。なお、引き続き、転居等による連絡先の未更新を見直すべく名簿の整理を進めており、より多くの皆様に確実な情報をお届けすることで、総会への参加率向上へと繋げてまいりたいと考えております。

結びに、平素よりOB会活動や、支援金等を通じた現役支援にご尽力いただいている皆様へ心より感謝申し上げます。今後は皆様からのご意見も踏まえながら、より充実した現役生への支援のかたちを検討していく所存です。引き続き、OB会への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



バスケットボール部

西村 昌吾
(102期)

恒例行事となっております元旦のOB戦には、本年も幅広い世代のOB諸兄と現役生が一堂に会しました。白熱した試合を通

じ、現役生のエネルギーに加え、若いOB達の参加も相まって、



バレーボール部

武山 雄海
(102期)

111期の砂川先生率いる現役生チームは、2026年1月に開催された全日本バレーボール高等学校選手権大会(春の高校バレー)

に、2年連続3度目の出場を果たしてくれました。

OB諸兄及び関係者の皆様には、今回も賛助金などの多大な



GUNKYO

株式会社 群協製作所

代表取締役社長 遠山 昇(サッカー部 79期)
専務取締役 遠山 雄彦(バレー部 84期)

<http://gunkyo.co.jp>

めまい・補聴器・アレルギー・各種日帰り手術
清水耳鼻咽喉科

院長 清水 祐二(サッカー部73期)

●診察時間 午前 9:00~12:30/午後 2:30~6:30

●休診日 日祝祭日・木曜日終日・土曜日午後

高崎市京目町321-4 ☎027-353-4533

<http://www.shmz-ent.com/>



社会福祉法人 愛善会

はなだか

かみだき

鼻高こども園 上滝こども園

國峯 善次郎(50期) 國峯 賢一(74期) 國峯 義仁(106期)
(サッカー部) (サッカー部) (和太鼓部)



ご支援を賜りまして、この場を借りて感謝申し上げます。今後もインターハイや春高に出場した際には、万全な体制で臨めるようにOB会としても最善の支援を行えるように尽力して参ります。

OB中心のチームである翠巒クラブは、10代～40代の幅広い年齢層の選手が、現役生に負けじと久しぶりの全国大会出場を目指して活動しております。

また部活の地域移行に先駆け、翠巒クラブのメンバーがジュニア向けの2つのクラブチームの運営を始めています。最近ではOBである親御さんが翠巒クラブ、お子さんがジュニアチームと、それぞれが隣のコートで楽しそうに練習している光景を目にする事ができ、このような活動を続けてきて良かったと思える場面がありました。

翠巒クラブ、高崎ブルーユナイテッド、Blue HEROes、各チームともメンバーを募集しておりますので、ご興味がございましたら下記までお問い合わせください。

◇お問合せは、こちらから

翠巒クラブ Instagram: @suiranclub_volley

高崎ブルーユナイテッド Instagram: @takasaki.blue.united.vc

Blue HEROes Instagram: @blue_heroes_vbc



テニス部

北村 真行
(85期)

昨年度もOB会の活動として、現役部員との交流試合を2025年8月9日(土)に高崎高校テニスコートにて、例年通り実施しました。当日は現役部員1・2年生に加え、顧問の高橋先生のお声かけにより集まった大学生OB、さらに30代から50代までのOBによるダブルス対抗戦が行われました。中でも特に印象的だったのは、今回東京から初参加となった花岡一哉さん(94期)・笠原幹宏さん(111期)ペアと大学生OBペアとの試合です。鋭い打球の応酬による白熱した内容となり、現役部員にとっても大変良い刺激になったのではないかと思います。練習用ボールの寄贈や記念撮影も行われ、怪我人もなく、夕刻には無事閉会となりました。一方、夜の総会・懇親会の参加者は残念ながら昨年を下回り、8名参加とやや寂しい会となりました。日程設定など、改善の



2025年8月9日、現役部員との交流試合、高崎高校にて

余地もあるかと思われ、今後の課題であると感じております。

また、これまでOB間の交流窓口として運営してきた「高崎高校テニス部OB会」のホームページ(<https://ttob.web.fc2.com>)は、利用規約改定の影響により、現在更新ができない状況となっております。現在、早急に代替サーバーへの移転を進めております。さらに、2年後の2028年に開催予定の「硬式テニス部創部50周年記念総会・懇親会」に向けた企画準備のためにも、SNS(LINEグループ)を活用しながら、OB同士の縦横のつながりや裾野の広がりを深めていきたいと考えております。

なお、今年のOB・現役生交流試合および総会・懇親会は、8月8日(土)の開催を予定しております。これまで参加されたことのないOB諸兄におかれましても、ぜひ気兼ねなくご連絡、ご参加いただければ幸いです。在郷OBによる毎週日曜日の定期練習は、吉井運動公園運動場のハードコートにて継続しております。こちらも年代を問わず、OBの皆さまの飛び入り参加を歓迎しております。併せて、OB会活動に関するご質問・ご連絡は、tenissob@gmail.com(北村)までお願いいたします。



剣道部

萩原 克明
(93期)

このたび、翠巒体育会剣道部の事務局長になりました、93期の萩原克明と申します。今後ともよろしくお願いします。



テニス部OB(84期)

山口 正仁

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!
ブルデンシャル生命保険株式会社 品川第二支社
TEL 03-6682-4440 携帯090-9309-9492

テニス部OB(108期)

つくなわ法律事務所

高崎市筑縄町52番地7 梅山第一ビル201号
TEL.027-395-0121
弁護士 大野 岳 群馬弁護士会所属

芸大美大美術系高校 高崎美術学院

受験予備校
高崎市岩押町35-12 ☎027-322-6548
<http://www.art-takabi.com>

社会人のための美術教室 アートフォーラム高崎

高崎市岩押町31-11 ☎027-326-5585
<http://www.art-takabi.com/artforum>

代表 北村 真行 (テニス部85期)

剣道部のOB会の高剣友会は毎年正月3日に新年稽古会を行い、そのあと総会、懇親会を行っております。近年は、若手を増やすために卒業生ライングループを拡大し、現在会員は100名を超えました。現役生の強化のために合宿の補助や自ら胸を貸して稽古に参加するなど、幅広い年代が剣道を通じて交流しております。

若手の剣道継続が増えて稽古参加も多くなり、夏合宿や大会前の練習にも参加して現役生を鍛えてくれています。また、懇親会では、旧友を懐かしみつつ、再び剣道を始めようという意欲を持つ方もいます。最上段位の8段を目指して、私の先輩方がまだまだ稽古に励んで挑戦を続けています、私も負けじと日々精進…? 頑張りたいと思います。

今後、高剣道部がさらに発展、活躍できるように、OBの先輩方の協力を取りまとめ、卒業後も楽しく強力無比な組織にしていきたいと思います。



陸上競技部

足立 晋
(96期)

この春の県立・公立学校の教員人事異動で、陸上競技部顧問としてご尽力いただいた本校OBでもある稲垣圭吾先生(100期)

が県行政へ異動され、新たに渋川女子高校から登坂健志先生が着任されました。これまで稲垣先生が鍛え上げてきた土台をもとに、選手たちが登坂先生のもとで活躍し、5月の時点ではありますが、全国ランキング上位に入る選手も出て、盛り上がりを見せています。今年も関東大会や全国大会で、高崎高校陸上競技部の選手の活躍が見られそうで楽しみです。

OB会の活動としては、昨年は7月12日にOB会総会が開催されました。顧問の稲垣圭吾先生(100期)に出席いただくことができ、現役生の活躍についての報告や、出席されたOB会員の方々の近況報告や現役生への激励金の贈呈も行うことができました。総会参加人数はそれほど多くないのが現状ですが、新たに総会に出席してくださった方もいました。これからどんどんネットワークを広げて、OB会の活動や現役生の活躍の情報を共有し、OB会の活性化を図っていききたいと思います。特



に、若手の会員のみなさまの協力、OB会総会への参加をどうぞよろしくお願いします。

最後に、昨年の東京世界陸上で日本代表に選ばれた井上直紀君(121期)が大学を卒業し、社会人として日本のトップレベルのスプリンターとして活躍をしています。昨年は翠鸞体育会のWFK(若手を増やす会)にも出席してくれて、代表チームでの貴重なエピソードを披露してくれました。今年も国内外の舞台で飛躍する井上君を、OB会として全力で応援していきたいと思っています。

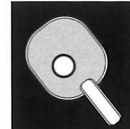


ソフトテニス部

清水 健一
(104期)

2025年8月9日(土)、例年通り35°近い猛暑の中、高崎高校テニスコートにてOB・現役との親善試合が行われました。若手からベテランまで幅広い世代のOBが参加し、現役と熱戦を繰り広げていました。また今年度は、親善試合のみならず、基礎練習を通してOBから現役へアドバイスを送る場面もありました。OBと現役とのよい交流の場となりました。

また、親善試合後にはOBと現役との間で行われる懇親会を、こちらも例年通り開催することができました。懇親会でも、OBと現役との間で情報交換が活発に行われ、とても貴重な時間となりました。今後ともOBと現役との間の親交をより深めていければと考えております。



卓球部

戸塚 大介
(108期)

OB諸兄及び関係者の皆様には、日頃から大変お世話になっております。108期の戸塚です。私事ですが最近ラージボールというものを始めました。ピンポン玉のサイズが少し大きくなり、ネットの高さも少し高く、使えるラバーも表ソフトのみというのが硬式との違いです。硬式とはまた違った相手と対戦することができ、混合ダブルスの大会が多く開催されるので、卓球の楽しみ方の幅が広がりました。

カーエレクトロニクス グッズ&サービス

群馬電装株式会社

本部・サービス部：高崎市江木町117
TEL.027-323-3622 FAX.027-327-6627
<http://www.gunmadenso.co.jp/>
代表取締役社長 川口 昌啓(剣道部74期)

群馬トヨペット株式会社

前橋市石倉町 2-6-5

TEL 027-251-5111(代) FAX 027-252-1251
代表取締役社長 大山 駿作(剣道部71期)

JMATERIALS CORPORATION

フィリピン進出支援 20年の実績
WWW.JMATERIALS.COM

中金良介 剣道部93期



SCAN TO CONNECT

活動報告を作成するに当たり、令和7年度高校総体の結果を見てみました。シングルスでベスト32、ダブルスでベスト8と健闘しており、OBとして誇らしく感じました。今後も引き続き頑張ってもらいたいと陰ながら応援しております。

さて、卓球部のOB会は夏と冬で年に2回、現役生との交流試合を行っています。交流試合は、最初にリーグ戦を行い、その後リーグ戦の順位ごとに順位決定トーナメントを行います。最低でも4戦程度は試合ができます。また、その日の夜に懇親会を行い、OB同士の親睦を深めております。私も、昨年は久しぶりに夏の交流試合に出て、現役生とともに汗を流しました。交流試合ではOB1人、現役生4人と試合しましたが、OBとの試合の方が苦戦したなと感じました。現役生はまだまだ粗削りな部分も見られたので、練習をこなしてOBを圧倒するくらいもっと強くなってもらいたいですね。もちろん、上手な子もいましたので私もうかうかしてられません。次回の交流試合では現役生に負けられないように頑張ります。

現在の卓球部OB会の状況についてです。少しずつではありますが、大学生や20～30代社会人のOB会に参加する人数が増えつつあります。以前に比べると若手OBが参加しやすい雰囲気になってきているのかなと感じています。卓球が上手でなくても構いません、また地元に住んでいなくても構いません。若手OBの参加をお待ちしております。特に卒業したての大学生は現役生も知っている顔だと思うので、行くと喜ばれると思いますよ。

交流試合の後には懇親会もありますが、交流試合だけ参加したいという方も大歓迎ですので、興味がある方は役員までお声がけください。連絡先は夏の交流試合の案内状に掲載しております。



ラグビー部

芳賀 弘幸
(81期)

翠鸞体育会の会員の皆様には、日頃よりお世話になっております。高崎高校ラグビー部OB会は、現役生の応援のための活動を行っています。まず、もう9年目になりますが、12月にラグビ

一部OB会主管で1年生の体育の授業においてラグビーの体験授業を行いました。たくさんのOBが授業に参加してくれました。高崎高校の「校技」であり、年配のOBにとっては懐かしい体育での冬のラグビーが授業で復活できるよう、ラグビー部OB会は高崎のラグビー授業にも積極的に関わっていきたいと思っています。

1月には長く伝統になっています現役生との「OB戦」を行いました。若手OBと現役生との試合は見ているものを熱くさせてくれました。そのあと場所を変え「新年総会懇親会」を行いました。旧知の仲間と杯をかたむけ、楽しい時を過ごすことができました。

また、3月には、長く続いている「ラグビー祭」を開催しました。現役は、群馬県内の高校のラグビー部を招いて試合を行い、新チームのゲームメイクを磨いていました。また、OBに関しては、地元のクラブチームとの試合を行い、スピーディーで拮抗した好ゲームとなりました。最高齢は、なんと56歳のラグーマンでした。また、小中学生も参加し、タックルのないタッチフットを楽しみました。試合後は、バーベキュー、ビンゴやラグビー用品のオークションを行いました。バーベキューには、現役生、小中学生や試合に参加した他校の高校生、クラブチームのプレイヤーも参加し、焼き肉、海鮮を楽しんでいました。

これからも高崎ラグビー部がさらに躍進できるよう、春の関東大会、夏の7人制ラグビー全国大会、冬の花園全国大会出場に向け、OB会は一層の支援を行っていきたいと思っています。



第125回

高崎中学校
高崎高等学校
同窓会総会・懇親会

令和9年
1/23
土曜日

15:00- 総会
16:00- 懇親会

場所：グランビュー高崎

= 協賛のお願い =

新年同窓会開催にあたり、安定的な運営を続けるために、企業・団体による協賛制度を設けております。つきましては、協賛制度にご賛同いただける企業・団体の皆様におかれましては、下記のメールアドレスにお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。なお、ご協賛いただいた企業・団体などのお名前につきましては、当日配布資料、新聞広告、会場スクリーン・パネル等に掲載させていただきます。

【お問い合わせ先】takataka.kanji96@gmail.com



～ 卒業生の皆さまと、心あたたまるひとときを ～

卒業した時代は異なれど、同じ学び舎で育まれたご縁は、今も私たちをやさしくつないでおります。当日はお立場や世代を越えて語り合い、笑い合うひとときとなれば幸いです。皆さまとお会いできますことを、心より楽しみにしております。

第125回 同窓会総会・懇親会 96期代表幹事 林司

《高崎高校運動部の活動報告》

先輩がんばってます



空手道部

大阿久 智温

空手道部は、3年生2名、2年生1名、1年生1名の計4名で活動しています。高崎高校には空手道の専門的な指導を行う先生がいないため、他校との合同練習を通じて多くのことを吸収し、柔軟に取り入れることを意識して日々の練習に取り組んでいます。私は小学1年生の頃から空手道を始めましたが、現在ご指導いただいている道場の先生は、小・中・高校を通じて同じ学校の先輩でもあります。その先生は高崎高校空手道部の部長も務めていたため過去の翠巒体育を調べたところ、お名前を見つけることができました。高崎高校の歴史の長さに感動するとともに、そのような大先輩と同じ道を歩んでいることを知り、大変嬉しく思いました。練習を積み重ね、自らの「道」を示せる人物となれるよう、精進して参ります。 押忍

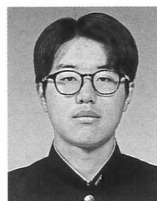


應援部

田胡 琢磨

第漆拾肆代應援部主将を務めております、田胡琢磨と申します。4月の部編成では、新たに2名の1年生が入部いたしました。

應援部が時代錯誤と称される現代において、なぜ我々は伝統を重んじ後世に残そうとするのか。その問いに向き合い、世に示すべく日々全力で應援を続けております。應援とは単なる声援にとどまらず魂をもって校友を鼓舞し、己のすべてを懸けて臨むものです。部員一人ひとりが「應援部とは何か」を問い続けることで伝統を踏まえた新たな姿が見えてくると信じております。我々は母校への愛と誇りを胸に、時流に流されることなくその伝統を守り継承してまいります。今後の姿をご覧いただき、現代の應援部の在り方を感じ取っていただければ幸いです。



軟式野球部

静 陸斗

軟式野球部は顧問の田島先生、副顧問の高橋直先生、今井先生のご指導の下、3年生7人、2年生8人、1年生3人の計18人で活動しています。

昨年の春、夏、秋の大会では、県予選優勝をすることができ、上位大会に出場することができました。しかし、唯一全国大会につながる北関東大会、春・秋関東大会では1回戦敗退と県外のチームとの差を感じる結果となってしまいました。そのため我々は、上位大会で勝てるチームになるよう現在も練習に励んでいます。経験豊富な人から未経験の人まで全員が協力し、いい雰囲気で行う日々の活動に取り組んでいます。

最後に、日頃から部活を支えてくださる先生方、保護者の方々、OBの皆さまなど、すべての方々への感謝を忘れずに自分たちらしく取り組んでいきますので応援のほどよろしく願います。



弓道部

萩原 悠真

私たち弓道部は顧問の金谷先生、コーチの東宮先生、またOBの方々のご指導の下、3年生4名、2年生11名、1年生12名の計27名で日々練習に取り組んでいます。

弓道は僅かな心身の乱れが結果を左右する非常に繊細な競技です。故に基本に忠実な正しい射を目指し、限られた時間の中で効率的かつ充実した練習を重ねて実力の向上を図っています。

昨年度の百八射会では多くのOBの方々にも参加していただき、有意義な射会を行うことができました。また東日本大会県予選会にて9年ぶりの優勝を果たし本戦へ出場いたしました。本戦で痛感した課題と向き合い、今年度の県総体、インターハイにて飛躍を遂げることを誓います。支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに一層精進して参りますので、今後ともご指導、応援のほどよろしく願いいたします。

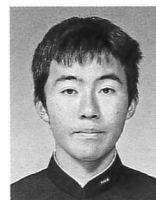


硬式野球部

多胡 絢稀

私たち硬式野球部は、諸先輩方が築かれた伝統を礎として、学年を問わず切磋琢磨し合う高い技術を武器に、今夏こそ甲子園の舞台で仲間と校歌を歌うため、日々精進しています。

チームスローガン「アグレッシブベースボール」を掲げ、新体制で臨んだ秋の大会では夏に続きベスト4に入り、春の大会のシード権を獲得しました。しかし春の大会では初戦敗退に終わり、課題を痛感する結果となりました。この悔しさを糧に問題点を洗い出して改善に取り組み、夏に向けて再スタートを切りました。現在はチームの一体感を課題とし、個々の技術力向上と課題の早期克服に努めています。常にチャレンジャーとしての意識を持ち続け、一戦必勝の精神で全員が一丸となって全力を尽くしていきたいです。

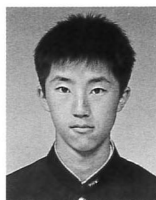


ソフトテニス部

齊藤 大介

高小ソフトテニス部は、インターハイ出場を目指し、部員一丸となって練習に励んでいます。今年は選手層が厚いこともあり、ハイスクールジャパンカップ予選単複同時優勝の快挙を成し遂げました。

今年は顧問の萩野谷先生のご協力もあり、県外の強豪との練習試合を多くこなせています。昨夏から積んできた基礎を実践で試す機会が充実していることもあり、上記のように努力が結果として表れてきています。練習を自信に変えて、これからの総体やインターハイ予選を高高らしく戦い抜きます。そして必ずや団体でのインターハイ出場を果たしたいと思っています。最後になりましたが、日頃からお世話になっているOBの方々に、御礼を申し上げると同時に、これからも御支援・御声援よろしくお願いします。



テニス部

櫻井 悠人

私達、硬式テニス部は顧問の高橋建次先生、中川浩之先生のご指導の下、3年生10名、2年生13名、1年生7名の計30名で活動しています。練習は学校のコートや並榎コートを利用し、団体戦では関東大会出場、個人戦のシングルス、ダブルスでは本戦出場を目指して日々練習に励んでいます。練習時間や技術面では県内の強豪校と比べると劣ってしまっていますが、高生ならではの頭を使った効率の良い練習を行うことによって劣っている部分を補い、向上心を持って、一つでも多くの勝利を掴むべく日々邁進する所存です。

最後に日頃から部活を支えてくださる先生方、家族やOBの方々への感謝の気持ちを忘れず、目標に向かって全力で取り組み、良い結果を残せるように精進してまいりますので、応援よろしくお願いします。



ラグビー部

篠原 健吾

私達ラグビー部は、皿山先生、松井先生、齊藤先生、外部コーチの方々のご指導のもと、3年7名、2年11名、1年10名の計28名で日々活動しています。県内私立高校と比べ練習時間が短く、部員数も少ないですが、部員一人一人が高い意識を持ち、「Enjoy Rugby」をチームスローガンに掲げ、限られた時間の中で質の高い練習に取り組んでいます。昨年の春の総体では関東大会出場という結果を残すことができました。今年もさらなる高みを目指して全力で戦い抜きたいと思っています。そして、高崎高校ラグビー部が更なる飛躍ができるよう、部員一丸となって結果を残していきたいと思ひます。

OBの方々をはじめ、多くの皆様の温かいご支援・ご声援を力に変え、チーム一丸となって戦っていきます。引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。



剣道部

金井 亮介

私達剣道部は顧問の近藤拓海先生、高橋瑛人先生のご指導の下、3年生6名、2年生5名、1年生3名の計14名で日々稽古に励んでいます。「文武両道」、「凡事徹底」を意識し、部員全員が高い目標に向かって一丸となり活動しています。

そして、「団体戦で関東大会出場」を目標に活動しています。学業との両立に迫られ、限られた練習時間の中で目標を達成するためには、部員一人一人が技の効果や稽古の目的を深く理解し、自分たちなりに工夫をしながら稽古に取り組む必要があります。常に部員全員で目標を意識し、考え続けながら稽古に励んでいきたいと思ひます。

日頃よりお世話になっている、先生方、OBの先輩方、保護者の方々への感謝の気持ちを忘れずに、部員一丸となって精進してまいります。引き続き応援よろしくお願いいたします。



卓球部

安田 隼

私達卓球部は、顧問の横田先生、長谷川先生、飯塚先生のご指導の下、3年生9名、2年生7名、1年生7名の計23名で活動しています。

卓球部は昨年度の高前定期戦で、熱戦に次ぐ熱戦を制し、44年ぶりに前橋高校に勝つことができました。今年はそこで得た経験を糧にし、部としてさらに成長できるよう一生懸命練習に取り組んできました。日頃の練習は生徒各自の自主性を重んじて、それぞれが自分に必要だと思うことを考えて取り組み、週末に組まれる練習試合で実力を試し、試合で勝ちきれぬ力をつけるべく頑張っています。

最後になりますが、私達を支えてくださる顧問の先生、OBの皆さん、その他関わってくれる全ての方への感謝を忘れず、これからも全力で頑張ります。今後も高崎高校卓球部の応援をよろしくお願いいたします。



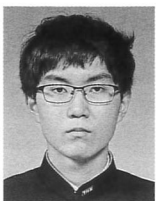
陸上競技部

鈴木 雄弘

陸上部は、個々人の判断や工夫を尊重した、選手が自ら考え行動できる自由な環境で活動しています。部員数は、3年20名、2年20名、1年24名の計64名と、公立校で最大規模を誇ります。これだけの人数が在籍していることで、同種目内はもちろん、種目の垣根を越えて競い、高め合えます。

また、時間を有効活用するため昨年から「質」を重視したトレーニングとしてプライオメトリクスやバイクを取り入れてきました。これにより、各選手が着実な成長を感じています。

さて、今年度からは登坂先生と戸丸先生が着任され、顧問の先生方が2人体制となりさらに手厚いサポートを受けられるようになりました。こうした恵まれた環境の中で、支えてくださっている先生方や周りの方に感謝し、多くの部員が総体で関東、更に全国で戦えるよう、一丸となり努力していきます。



山岳部

高橋 遼真

山岳部は、顧問の長谷川先生、副顧問の國富先生、中山先生のご指導の下、1年生10名、2年生9名、3年生15名の計34名で活動しています。

普段は観音山でのトレーニングに励み、月に一度、山行を行っています。昨年度は谷川岳や黒檜山、夏季休業期間中には富山県の立山に行き、山岳部ならではの多くの貴重な経験を部員たちとともにさせていただきました。また、高校総体では好成績を収めて、関東大会にも出場することができました。

これからも、高い志を持ち体力面でも精神面でも自分たちを鍛え、OBの方や先生方など私たちの活動を支えてくださっている方々への感謝を忘れずに安全な登山を実施していきますので、今後とも高崎高校山岳部の応援をよろしくお願いいたします。



ライズ総合保険

AD Flagship partner 高崎
有限会社富田総合保険プランナーズ

代表取締役 富田 和弘 (応援部OB 85期)
武山 雄海 (バレーOB 102期)

〒370-0044 高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364



GSD ホームページ、WEB システム
Global Solution Developer の作成はお任せください。

株式会社ジー・エス・ディー

専務取締役 佐藤 英樹 (応援部 92期)

〒370-0058 高崎市九蔵町 25-1 WESTIN I 503 号

TEL: 027-323-3880 FAX: 027-310-2667

URL: <http://www.g-s-d.net> mail: h_sato@g-s-d.net

でてこい。未来のリーダーたち。

四谷大塚 NET **CEBU流学**

適塾

www.tekijuku.info 塾長 櫻井 健一 (応援部 87期)



水泳部

高田 瑛斗

水泳部は、3年生7人、2年生1人、1年生2人の計10人で顧問の青木先生、副顧問の鈴木先生のご指導の下、関東大会、インターハイ出場を目指して日々、練習に励んでいます。

練習は各クラブで活動したり、プールサイドで筋トレをしたりなどです。昨年度は関東大会に出場することができましたが、入部してくれた後輩が1名の上、今年も新入生が2人程と水泳部は現在、存続の危機に瀕しています。なので僕たち3年生が後輩たちの手本となり、水泳部をより高いレベルへと引き上げられるように、日々精進していきたいと思ひます。

最後になりますが、お世話になっている先生方、OBの方々、保護者の方々には深く感謝を申し上げます。水泳部がここまで頑張れるのは、皆様方の多大なご指導、ご支援のおかげです。今後とも応援よろしくお祈ひします。



柔道部

飯沼 希武

柔道部は現在、3年生2名、2年生5名の計7名で活動しています。顧問の櫻井先生、副顧問の松井先生、そして全日製の田中教頭先生のご指導のもと、日々営々と稽古に励んでいます。

先輩方の引退や前顧問の先生の異動により環境は大きく変わりましたが、私たちの目標は変わりません。伝統である「考える柔道」を胸に、関東大会出場を目指して切磋琢磨しています。学年の垣根を超えた声掛けで士気を高め、いかに効率的かつ効果的な稽古ができるかを常に模索しています。

日々支えてくださる保護者の皆様、そしてOBの方々への感謝の気持ちは、畳の上での結果で示したいと考えています。武道家としての礼儀と感謝を忘れず、日々精進してまいります。応援よろしくお祈ひいたします。



サッカー部

村井田 隆太

私たちサッカー部は、顧問の笠原先生、副顧問の徳光先生、佐藤先生のご指導の下、1年生25名、2年生15名、3年生24名で活動しています。

目標は高校総体、インターハイ、冬の選手権でのベスト8進出です。昨年のトーナメント戦は、よい成績を残すことができず悔しい思いをしましたが、その経験を糧に、個の力、そしてサッカー部としての力を上げられるように、チームの気持ちを一つにして日々練習に励んでいます。

日ごろから私たちを支えてくれる先生方、保護者の方々、そしてOBの方々への感謝の気持ちを忘れずに自分たちの高校サッカーの集大成である高校総体、インターハイに向けて励んでいきますので、引き続き皆様の応援をよろしくお祈ひします。



バドミントン部

鈴木 健

私たちバドミントン部は、顧問の箕輪先生、副顧問の前原先生のご指導のもと、部員33名で日々練習に励んでいます。本校バドミントン部は経験者が少なく、高校から競技を始めた部員が多いのが特徴です。そのような中で、先輩方が築いてきた練習を大切にしながら、自分たちでも新しい練習メニューを調べ、部員同士で共有し、チーム全体の実力向上に努めてきました。

昨年度は、OBである相馬さんのご指導やご支援をいただく機会に恵まれ、練習に励んでいました。そして、今年度は、前原先生による専門的なご指導も日々受けることができるようになり、練習の質と効率が大きく向上しました。恵まれた環境の中で競技に取り組んでいることに感謝しています。これまで歯が立たなかった相手に競い合えるチームを目指し、これからも部員一同、真摯に練習に向き合っていきます。今後とも応援よろしくお祈ひいたします。



バレーボール部

小林 陽向

バレーボール部は、顧問の砂川先生と副顧問の岸先生、木暮先生のご指導の下、3年生10名、2年生12名、1年生10名の計32名で練習に励んでいます。

昨年度はインターハイでは、2年連続出場には届かなかったものの、春高バレーで高史上初となる2年連続出場という、高バレー部の歴史に新たな1ページを刻むことができました。

我々の今の目標は「群馬で勝てるチーム」になることではなく、「全国で勝てるチーム」になることです。このような目標を持って活動できているのは、歴代のOBの皆様の努力や激励があってこそだと思っています。

このような高バレーの伝統をさらに発展させ、より良い形で次の世代に引き継いでいけるようにこれからも精進して参ります。応援の程よろしくお祈ひします。



バスケットボール部

亀田 伍朗

バスケットボール部は顧問の小澤先生、副顧問の川田先生、齋藤貴昭先生の指導のもと、3年生17名、2年生14名、1年生23名の計54名で活動しています。

私たちは関東大会、インターハイ出場を目標に日々「戮力協心」を胸に刻み練習をしています。例年よりも部員数が多くなり、志を高く持ち、互いに鼓舞しあう多くの仲間と共に日々の練習、試合の中で確実に目標に近づいていることを実感しています。伝統である、ハードなディフェンスを行い、自分たちのバスケットを発揮して必ず優勝を掴み取りたいと思ひます。

最後になりますが、日頃より私たちの活動を支えてくださる先生方、OBの皆様、そして保護者の皆様に、感謝し期待に応えられるように日々精進して参ります。今後とも応援よろしくお祈ひします。

KAIBOUSAI Inc.
株式会社 甲斐防災

〒370-3531 高崎市足門町725-16 TEL.027-373-3915

消防用設備の工事・点検
お任せください！

代表取締役 甲斐 俊輔

(陸上部 87期)



令和7年度運動部活動状況

硬式野球部

全国高等学校野球選手権群馬大会

1 回戦	6-4	群馬高専
2 回戦	8-1	市太田
3 回戦	9-8	前 橋
準々決	6-2	桐 一
準決勝	2-17	育 英

夏季西毛リーグ

8-6	富 実
8-9	富 岡
4-5	安総合

秋季関東地区高等学校野球大会群馬県予選

1 回戦	13-0	渋 工
2 回戦	7-3	県 央
3 回戦	7-5	伊 商
準々決	11-1	前 東
準決勝	1-16	桐 一

春季西毛リーグ

11-6	中央中等
2-13	健大高
9-2	藤中央
0-4	県 央

春季関東地区高等学校野球大会群馬県予選

2 回戦	5-7	利 商
------	-----	-----

バレーボール部

全国高等学校総合体育大会バレーボール競技県予選会

3 回戦	2-1	高 北
準々決	1-2	桐 商

ベスト 8

令和7年度 群馬県高等学校バレーボール選手権大会兼
第78回 全日本バレーボール高等学校選手権大会県予選会

3 回戦	2-0	前 工
準々決	2-0	伊 商
準決勝	2-1	高 工
決 勝	3-0	桐 商

優勝

群馬県高等学校バレーボール男子新人大会

3 回戦	2-0	前 橋
準々決	2-0	県 央
準決勝	2-0	太 田
決 勝	2-1	前 商

優勝

空手道部

インターハイ予選

団体 組手	1-4	農 二
個人 組手		2 回戦敗退

新人大会

団体 3人制組手		
準決勝	0-3	清 明
個人 組手		第3位 初戦敗退

水泳部

令和7年度 高校総体 総合 5位

50m自	吉江 雅	5位(関東出場)
100m自	吉江 雅	7位(関東出場)
100m背	清水優太	3位(関東出場)
200m背	清水優太	4位(関東出場)
100m平	廣瀬 翼	6位(関東出場)
200m平	上原拓己	4位(関東出場)
400m個メ	上原拓己	4位(関東出場)
400mR	廣瀬・大塚・清水・吉江	5位(関東出場)
800mR	廣瀬・嶋守・清水・上原	4位
400mメR	吉江・上原・清水・堀口	5位(関東出場)
群馬県高等学校選手権水泳競技大会	総合	6位
100m自	吉江 雅	6位

100m背	清水優太	4位
200m背	清水優太	3位
100m平	廣瀬 翼	2位
200m平	上原拓己	4位
400m個メ	上原拓己	2位
400mR	廣瀬・大塚・竹内・長谷川	5位
800mR	大塚・竹内・高田・長谷川	5位
400mメR	大塚・竹内・清水・長谷川	7位
群馬県高等学校新人水泳競技大会		
200m自	嶋守健人	1位

柔道部

《柔道競技》

令和7年度 群馬県高等学校学年別柔道大会

入賞なし

令和7年度 県高校総体

入賞なし

第74回 全国高等学校柔道大会群馬県予選会

入賞なし

第2回 関東高等学校選抜柔道大会群馬県予選

入賞なし

令和7年度 第73回群馬県高等学校新人柔道大会

入賞なし

ソフトテニス部

群馬県高校選手権大会

個人 ダブルス	大河原・齊藤ペア	準優勝
		(全国大会出場)

群馬県高等学校夏季ソフトテニス大会

個人 シングルス	牧野	準優勝
ダブルス	牧野・齊藤ペア	準優勝

群馬県高等学校新人ソフトテニス大会

団体		3 位
個人 ダブルス	牧野・齊藤ペア	優勝
ボーセン杯争奪ハイスchoolジャパンカップ		
ソフトテニス2026 群馬県代表選考会		
個人 シングルス	牧野	優勝
		(全国大会出場)
ダブルス	牧野・齊藤ペア	優勝
		(全国大会出場)

ラグビー部

全国7人制大会予選

準々決	29-0	興 陽
準決勝	5-33	桐 一
		ベスト 4

1年生大会

1 回戦	9-21	合同B(興陽・伊勢崎・太田)
敗者戦	15-0	合同A(前橋・渋川・渋工・高工)
選手権大会(全国大会予選)		
準々決	20-5	高 工
準決勝	5-76	桐 一
		ベスト 4
新人大会		
準々決	29-0	合同A(前橋・育英・桐生)
準決勝	0-76	県 央
シード決	0-69	桐 一
		ベスト 4

軟式野球部

第73回春季関東地区高等学校軟式野球大会

群馬県予選大会		
2 回戦	24-0	桐 工
準決勝	5-0	高 工
決 勝	5-3	前 橋
		2年ぶり5回目優勝

第73回春季関東地区高等学校軟式野球大会

1 回戦	0-4	城西大学付属城西(東京B)
第70回全国高等学校軟式野球選手権		
北関東地方大会		群馬県予選大会
2 回戦	8-1	太 田

準決勝	3-2	高 商
決 勝	7-6	農 二

(延長10回タイブレーク)

3年ぶり3回目優勝

第70回全国高等学校軟式野球選手権

北関東地方大会

1 回戦	0-4	白鷗大足利(栃木B)
------	-----	------------

第66回秋季関東地区高等学校軟式野球大会
群馬県予選大会

1 回戦	8-1	3校連合(前工・高商・桐一)
準決勝	9-2	前 橋
決 勝	8-4	太 田

5年ぶり5回目優勝

第66回秋季関東地区高等学校軟式野球大会

1 回戦	2-6	武相(神奈川C)
------	-----	----------

剣道部

令和7年度 インターハイ予選

団体 1 回戦	5-0	富 実
2 回戦	1-3	高 北

令和7年度 選手権大会

団体 1 回戦	1-2	前 商
---------	-----	-----

令和7年度 学年別大会

個人 1 年生	服部・松岡	ベスト32
2 年生	土屋・羽鳥	ベスト32

令和7年度 新人戦

団体 1 回戦	1-3	沼 田
---------	-----	-----

山岳部

関東大会出場 (この大会は特に順位が付きません。)

陸上競技部

北関東大会

5000mW	永井 翼	23分18秒10	5 位
県高校新人			
三段跳	鈴木雄弘	13m99	2 位
三段跳	森田翼幹	13m91	3 位
110mH	白石琢真	15秒83	3 位
			(関東新人大会進出)

関東新人大会

三段跳	鈴木雄弘	14m02	7 位
JOC U18・U16陸上競技大会(県代表)			
U16三段跳	木暮力輝	13m51	11 位

サッカー部

令和7年度 全国高等学校総合体育大会サッカー競技

群馬県予選

2 回戦	2-0	桐 工
3 回戦	1-3	伊 工

令和7年度 第104回全国高等学校サッカー選手権大会
群馬県大会

決勝トーナメント		
1 回戦	1-2	市前橋
		ベスト24

卓球部

インターハイ予選

1 回戦	3-0	館商工
2 回戦	0-3	前 商

新人大会

2 回戦	3-0	富 岡
3 回戦	0-3	樹 徳
ダブルス	安田・高橋(駿)ペア	ベスト32
	西村・高橋(奏)ペア	ベスト16

バドミントン部

インターハイ予選

シングルス	鈴木駿	ベスト64
-------	-----	-------

ダブルス	稲村・白井ペア	ベスト32
	(国民スポーツ大会への出場権獲得)	
	城田・須貝ペア	ベスト64
団体	2回戦 3-2 勢 農	
	3回戦 0-3 新 島	ベスト16
新人戦		
シングルス	鈴木健	ベスト64
ダブルス	鈴木・佐藤ペア	ベスト32
	長谷川・小暮ペア	ベスト64
1年シングルス	福永悠介	ベスト64
団体	1回戦 1-3 清 桜	
県高校生大会		
シングルス	佐藤秀祐	ベスト8
	半田蒼拓	ベスト16
	長谷川陽翔	ベスト16
	松本恵士	ベスト32

バスケットボール部		
インターハイ予選		
	2回戦 134- 34 新田暁	
	3回戦 92- 52 清 桜	
	準々決 100-117 樹 徳	ベスト8
WC予選		
	1回戦 141- 7 尾 瀬	
	2回戦 111- 67 市太田	
	3回戦 93- 58 伊勢崎	
	準々決 61- 90 桐 一	ベスト8
新人大会		
	1回戦 115- 53 市太田	
	2回戦 128- 37 大 泉	
	3回戦 109- 52 伊 工	
	準々決 75- 85 桐 一	
	5位決 67- 82 育 英	
	62- 50 太 東	7位
GuBA 2部リーグ		
	106- 36 伊 工	2位
	71- 42 太 東	
	56- 74 前 商	
	112- 50 館 林	
	102- 59 太 田	
	入替戦 78- 73 桐 生	1部昇格

テニス部		
インターハイ予選		
個人	シングルス	菅原淳生 ベスト32
		馬場 真 ベスト32
		花見 侍 ベスト64
	ダブルス	馬場・花見組 ベスト32
		中村・石井組 ベスト32
団体	1回戦 2-0 前 工	
	2回戦 0-2 共 愛	ベスト 8
群馬県高等学校新人テニス大会		
個人	シングルス	菅原淳生 ベスト 8
		星野利音 ベスト64
		藤井琉生 ベスト64
		茅根奏平 ベスト64
	ダブルス	菅原・茅根組 ベスト 8
		藤井・小金澤組 ベスト32
団体	2回戦 5-0 清 桜	
	3回戦 3-0 四ツ葉	
	4回戦 3-0 新 島	
	決勝リーグ	
	2-3 共 愛	
	1-4 太 田	
	不戦勝 GKA	3位

弓道部		
県選手権		
団体	予選20射4中	予選敗退
個人		予選敗退
関東個人県予選		
個人	川原 予選3中 決勝2中 計5中	
	射詰競射 残念	決勝敗退
	峰岸 予選2中 決勝2中 計4中	
		決勝敗退
県新人大会		
団体	予選24射10中	予選敗退
個人		予選敗退
東日本予選		
団体	峰岸、川原、岡野、吉田(補欠)	
	予選24射13中	予選5位通過
	決勝トーナメント(12射)	
	1回戦 9- 7 健大高	
	準決勝 6- 5 高経附	
	決 勝 5.1-5.0 館商工	
	(※射詰競射による勝敗決定)	
	優勝(東日本大会出場)	
個人	川原	
	1回戦3中 2回戦3中 計6中	
	(3~5位決定の遠近競射進出)	
		決勝敗退

第61回高校総体 (令和8年度) 男子総合3位

第60回 総体成績				
順位	学校名	得点	順位	得点
1	育 英	81.5	1	85.0
2	前 橋	65.0	3	65.0
3	高 崎	63.0	5	59.5

バレーボール部		
初 戦	2-0 前 工	
準々決	2-0 伊勢崎	
準決勝	2-0 太 田	
決 勝	2-0 桐 商	優勝 (関東大会出場)

ソフトテニス部		
団体 決勝リーグ		
	2-1 高 商	
	3-0 前 商	
	2-1 農 二	優勝 (関東大会出場)
個人	ダブルス	牧野・齊藤ペア 準優勝
		齊藤・鈴木ペア ベスト16 (2組 関東大会出場)

バドミントン部		
団体	1回戦 0-2 太 田	
個人	シングルス	鈴木 健 ベスト64
		長谷川陽翔 ベスト64

サッカー部		
	1回戦 3-1 西邑楽	
	2回戦 0-0 常 磐	
	(PK 3-5)	

バスケットボール部		
	2回戦 103- 59 大 泉	
	3回戦 104- 71 伊 工	
	準々決 75- 91 新 島	ベスト 8

山岳部		
男子		5 位 (関東大会出場)

空手道部		
団体	組手	
	1回戦 0-5 高 工	

剣道部		
団体	1回戦 1-0 伊勢崎	
	2回戦 0-2 前 橋	
個人	長谷川隼太	ベスト16

弓道部		
団体	予選 1回戦 20射9中	
	2回戦 20射12中 計21中	
		予選敗退
個人	8名予選通過	決勝敗退

テニス部		
団体	2回戦 3-0 中央中等	
	3回戦 2-0 健大高	
	4回戦 1-2 新 島	ベスト 8
個人	シングルス	菅原 ベスト 8
	ダブルス	菅原・茅根ペア ベスト 8

卓球部		
団体	1回戦 3-0 渋 工	
	2回戦 3-1 市前橋	
	3回戦 1-3 伊 商	
個人	ダブルス	西村・青山ペア ベスト32

ラグビー部		
	準々決 17- 0 合同A(渋工・渋川・育英)	
	準決勝 7-85 明和県央合同	
	3位決 7-52 桐 一	4 位

柔道部		
《柔道競技》		
団体	1回戦 5-0 健大高	
	2回戦 0-5 常 磐	
	順位決 2-3 樹 徳	ベスト16
《相撲競技》		
	出場なし	
	(柔道競技と日程が被っていました)	

陸上競技部		
男子総合	22.5点	6 位
100m	石井 然(10秒65)	2 位
400m	二川総司(50秒47)	5 位
走高跳	山本大智(2m01)	2 位
走高跳	大平希史(1m85)	6 位
三段跳	森田翼幹(14m27)	2 位
三段跳	鈴木雄弘(14m06)	4 位
110mH	佐藤秀哉(15秒70)	5 位

少林寺拳法		
個人演武		4 位 (関東大会出場)

翠巒体育会役員名簿

(2026. 6. 23)

役職	氏名	期	運動部名	役職	氏名	期	運動部名	役職	氏名	期	運動部名
会長	市川英久	91	柔道	理事	鳥居吉二	73	柔道	理事	川手和義	93	硬式野球
副会長	吉井章一	78	山岳	〃	志田登	82	〃	〃	長壁幹	104	〃
〃	山岸祐二	79	水泳	〃	広田金次郎	95	〃	〃	北嶋聡二	87	バスケットボール
〃	橋爪洋介	85	卓球	〃	茂原賢三	89	陸上競技	〃	富澤慎一	99	〃
〃	櫻井健一	87	応援	〃	中山拓紀	102	〃	〃	児島健太郎	100	〃
〃	根岸強	87	サッカー	〃	長壁拓郎	111	〃	〃	松本基志	77	山岳
〃	石橋修	90	陸上競技	〃	相澤悦郎	88	ラグビー	〃	齋藤英敏	83	テニス
〃	戸澤健	92	硬式野球	〃	綿貫雄高	88	〃	〃	長谷川泰三	83	〃
〃	萩原克明	93	剣道	〃	高橋哲人	89	〃	〃	松本潔志	85	〃
〃	塚本浩史	99	バスケットボール	〃	永尾俊弘	70	水泳	〃	原寛	91	〃
〃	折田成康	108	ソフトテニス	〃	斉藤全賢	75	〃	〃	佐藤雄一	86	スキー・スケート
〃(事務局長)	井野周平	91	ラグビー	〃	伊藤祐司	75	〃	〃	沼野藤雅	89	〃
〃(事務局)	横田裕正	92	スキー・スケート	〃	須藤聡	78	〃	〃(編集委員)	須川光一	79	山岳
〃(編集委員)	北村真行	85	テニス	〃	堤康高	71	卓球	〃	芳賀弘幸	81	ラグビー
〃(会計)	武山雄海	102	バレーボール	〃	羽鳥広平	104	〃	〃	伊藤俊一郎	92	柔道
事務局	小澤朋克	99	バスケットボール	〃	宮原丈太郎	111	〃	〃	足立晋	96	陸上競技
監査	波多野重雄	77	陸上競技	〃	石田和久	75	ソフトテニス	〃	鈴木崇之	97	剣道
〃	仲澤賢一	86	バスケットボール	〃	深堀将平	111	〃	〃	清水健一	104	ソフトテニス
顧問	國峯善次郎	50	サッカー	〃	新嶋拓哉	111	〃	〃	高橋秀仁	107	卓球
〃	岩田武雄	53	バスケットボール	〃	佐藤英樹	92	応援	編集委員	提箸宏	74	サッカー
〃	高橋浩生	78	バレーボール	〃	新藤靖秀	106	〃	〃	新藤洋一	81	水泳
〃	大田部功	85	ラグビー	〃	高橋良太	118	〃	〃	藤井正弘	81	応援
理事(会計)	根岸彰	103	応援	〃	遠山昇	79	サッカー	〃	寺澤佑介	95	スキー・スケート
理事	高橋孝史	97	バレーボール	〃	安藤英彦	86	〃	〃	西村昌吾	102	バスケットボール
〃	柴山俊広	103	〃	〃	佐藤雄一	97	〃	〃	金田優弥	106	硬式野球
〃	秋山恭兵	111	〃	〃	高山雄介	100	〃	〃	高橋亮	108	バレーボール
〃	角岡大悟	96	剣道	〃	清水威	85	硬式野球				
〃	山崎誠弘	112	〃	〃	清水元	91	〃				

学校側顧問

校務 事務 運動部 事務	長頭	佐鳥	秋彦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
-----------------------	----	----	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



O B 会長名簿

OB会名	会長氏名	期
柔道部OB会	鳥居吉二	73
ソフトテニス部OB会	田口恵一	74
硬式野球部OB会	清水正郎	75
山岳部OB会	松本基志	77
水泳部OB会	島崎秀明	77
剣道部OB会	小池政一	77
ラグビー部OB会	今村孝之	80
バレーボール部OB会	真下公利	81
テニス部OB会	齋藤英敏	83
応援部OB会	富田和弘	85
卓球部OB会	橋爪洋介	85
スキー・スケート部OB会	佐藤雄一	86
サッカー部OB会	安藤英彦	86
陸上競技部OB会	石橋修	90
バスケットボール部OB会	塚本浩史	99

② [北村真行・テニス部・85期]

③ 昨年の総会で大田部功前会長(ラグビー部・85期)よりバトンを引き継いだ、市川英久第六代新会長(柔道部・91期)を中心とする新体制のもと、本年も「翠巒体育 第45号」を無事お届けできる運びとなりました。ご寄稿いただいた各OB会諸君ならびに編集委員の皆様のご尽力に、あらためて厚く御礼申し上げます。巻頭では、現役運動部員による「硬式野球部 第107回全国高校野球選手権群馬大会ベスト4」や、「バレーボ

ール部春高バレー2年連続出場」といった輝かしい戦績をご報告でき、OBの一人として大変嬉しく感じております。私自身、長年編集委員を務めておりますが、近年は他部の編集委員にも100期以降の若い世代が増え、世代交代による新鮮な活力を感じています。

今後も、高崎高校運動部の良き伝統と新たな歩みをお伝えできるよう、現役生のさらなる活躍と、各部OB会のますますのご盛況を心より祈念しております。